

番号	新規	種類	分野	生涯学習プラン 具体的な施策		未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的	事業内容	対象者	回数	参加者数 (人)等	実施 形態	令和4年度 実績		令和4年度の目標および評価				令和5年度 目標設定		令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 決算 (千円)	令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名	No	基本施策								の コ ン タ クト	実施 方法	指 評 標 価	令和4年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和5年度目標値	方向性					令和5年度の 課題と方向(120字程度) 廃止・休止の場合はその理由	
1		講座・教室	教養的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	自然体験・自然観察会	自然体験・自然観察の機会を提供し、市民の自然を大切に育む。	本市の特長でもある豊かな自然を活かし、市民を対象とした自然観察会を行う。	子ども	4	70名 (ホタル:16名、秋:19名、星空:28名、冬:7名)	共催	変更して実施	対面実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点及び参加者の安全のため、人数を制限・規模を縮小し実施した。当日、直前のキャンセルが多く想定より参加者が下回ったが、目標は達成した。	参加者数・利用者数	65名	70名	A	90名	取組の継続	令和5年度の課題と方向(120字程度)廃止・休止の場合はその理由	30	30	30	学習支援課
2		講座・教室	青少年育成・体験活動	001	子どもたちが体験できる機会の充実	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	出張体験講座	市内小学校に講師を派遣して、子どもたちに多様な体験型講座を実施する。	市内小学校に講師を派遣して、子どもたちに多様な体験型講座を実施する。	子ども	19	897	委託	通常通り実施	対面実施	昨年度は、21講座を用意した中でも新型コロナウイルスの影響で計5回の実施に留まったが、令和4年度は、講座を28種類に増加させるとともに開催回数は19回と、大幅に拡大することができた。	実事業・業拡の再構築・充実	20回 (より多くの子どもたちが、多様な体験を行える機会を充実させる。)	19回 (子どもたちが、多様な体験を行える機会を大幅に充実させた。)	A	15回 (子どもたちが、多様な体験を行える機会の維持)	取組の継続	令和4年度に子どもが多様な体験経験をできることを目的とした別事業を創設したため、本事業の実施回数目標は15回とし、当該で行う体験経験の機会の拡充を目指した事業全体での回数の増を目指す。	6,866	1,108	2,282	放課後児童支援課 (NPO法人八王子生涯学習コーディネーター会)
3		講座・教室	子育て	001	子どもたちが体験できる機会の充実	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	赤ちゃんふれあい事業	八南助産師会によるいのちの講義や妊婦ジャケット等を使用した体験、妊婦や乳幼児親子と直接ふれあう体験をとおして、次代を担う思春期の中学生が、命の大切さや妊娠・出産に関する知識を学び、豊かな人間性を育む。	市内の中学校と地域の関連機関が連携して、中学生が乳幼児や妊婦とふれあう機会を提供し、命の大切さを再認識するとともに、自尊感情を育む。	子ども	35	35校	委託	変更して実施	どちらも実施	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、実会場で妊婦や乳幼児親子の参加は見合わせ、交流を希望する全校でオンラインを活用した妊婦や乳幼児親子との交流を実施した。	事業の再構築・充実・拡大等	すべての公立中学校(38校)での実施	公立中学校35校	B	すべての公立中学校(38校)での実施	取組の継続	流行性疾患の市内感染状況を見て、実会場でふれあい交流の再開	3,273	2,779	3,749	子どものしあわせ課 (八南助産師会)
4		イベント等	青少年育成・体験活動	001	子どもたちが体験できる機会の充実	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	子ども体験塾「トイトイ オークストラ！」	子どもたちに、身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する感動体験を提供し、音楽への興味と豊かな感性を育む。	オーケストラを実際に鑑賞する機会の少ない子どもたちに、迫力ある生の演奏を体感する機会を提供し、音楽への興味と豊かな感性を育む。	親子・保護者	1	1,360	実行委員会	通常通り実施	対面実施	感染症対策を講じながら内容・方法を工夫し、前回実施できなかった楽器体験を実施。さらにスタッフ体験を新たに取入れるなど、体験機会の充実にも取り組んだ。	参加者の満足度	アンケートで5段階評価を行い、「大変良かった」または「良かった」の合計割合は98%であった。	「大変良かった」または「良かった」の合計割合を、80%以上	A	アンケートで5段階評価を行い、「大変良かった」または「良かった」の合計割合を、80%以上	取組の継続	オーケストラと共演する学校を募集する際の学校への周知	0	0	0	子どものしあわせ課 (学園都市文化ふれあい財団)
5		イベント等	教養的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	6-1	一人ひとりが考え、ともに守る環境	八王子浅川水辺の楽校	生きものの採集やボートでの川遊びなどの体験活動を通じて、環境教育の充実を図るとともに、環境を大切にすると行動力を育てる。	・ウグイ・アユの放流 ・八王子浅川ガサガサ探検隊 ・水辺のかんきょう教室 ・浅川河川清掃&野鳥観察	子ども	7	584	実行委員会	通常通り実施	対面実施	令和3年度に比べて多くのイベントを実施することができ、多くの方に参加していただいた。	参加者数・利用者数	1つでも多くのイベントを行い、多くの方に参加いただく。	令和4年度参加者数 実施回数 584人 7回 令和3年度参加者数 実施回数 267人 4回	A	参加者数 680人	取組の継続	課題・スタッフの高齢化・コロナが終息してない中での活動内容について より多くの方に参加いただけるように、活動内容の充実を図る。	250	239	250	水環境整備課 (八王子浅川水辺の楽校運営協議会)
6		講座・教室	教養的なもの	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	八王子「宇宙の学校」	小学校低学年の子と親の絆を強め、地域が協力して子どもを育む仕組みづくりを行う。宇宙に関連する様々な素材・身近な教材を活用し、子どもたちの心にある好奇心、冒険心、匠の心を育成する。	小学校1年生から3年生を対象に、実験工作に取り組みスクーリングと家庭学習を組み合わせた教育プログラムに基づき、子供たちの心に「好奇心」「冒険心」「匠の心」を育てていくことを目的に宇宙教育を行う。また、事業は、市民や学生ボランティア等との協働により進めている。	子ども	6	104	実行委員会	変更して実施	対面実施	令和3年度は全面中止。令和4年度は、回数・人数を制限し、消毒などの感染症拡大防止対策を徹底し実施した。	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度 90%以上	アンケート集計結果における満足度 97%	A	アンケート集計結果における満足度 90%以上	取組の継続	安全で安心な感染症拡大防止対策を図りながら、令和4年度より回数・人数を拡大し、実施する予定。	700	500	1,000	こども科学館 (宇宙の学校実行委員会)
7		講座・教室	青少年育成・体験活動	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	青少年講座	子どもたちに社会体験、職業体験、伝統文化体験をはじめとする多様な体験学習の場を提供し、自発的・主体的な青少年を育成する。	子どもたちに社会体験、職業体験、伝統文化体験をはじめとする多様な体験学習の場を提供し、自発的・主体的な学習活動の基礎をつくる。	子ども	22	247	市単独	通常通り実施	対面実施	定員制限等の感染対策を講じた上で3館合計22講座を開催し、247名が参加した。(参考:令和3年度は16講座、262名参加)	参加者の満足度	満足度90%以上	アンケートで「大変満足」「満足」と答えた割合 97.3%	A	満足度90%以上	取組の継続	講座を実施し、子どもたちに多様な体験学習の場を提供していく。	588	348	588	学習支援課
8		講座・教室	健康・スポーツ	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ジュニア育成事業	トップアスリートが直接指導する各種スポーツ教室を開催し、子どもたちの競技力の向上と、スポーツ人材の育成を図る。	トップアスリートが直接指導する各種スポーツ教室を開催し、子どもたちの競技力と意識の向上を図る。	—	—	—	—	—	指定管理者、大学等民間事業者がジュニア育成事業を積極的に展開しているため、実施せず。	等者参加者数・利用者数・件数	実施	—	—	—	廃止・休止	指定管理者、大学等民間事業者がジュニア育成事業を積極的に展開しているため。	0	0	0	スポーツ振興課	

番号	新規	種類	分野	生涯学習プラン 具体的な施策	未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的	事業内容	令和4年度 実績		令和4年度の目標および評価			令和5年度 目標設定		令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 決算 (千円)	令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 担当課 (実施主体)								
					対象者	回数				参加者数 (人)等	実施 形態	の コ ン タ クト 数	実施 方法	指 評 価	令和4年度目 標値	目標値に 対する 実績値					評 価	令和5年度目標値	方向性					
					令和4年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)											普及・啓発等					アンケート調査により、高等教育機関への理解が深まった70%以上	大学等への印象が良くなったと回答した児童は97%、保護者は77%	A	参加児童数の増(令和4年度:374人)	取組の継続	イベントへの参加を通じて、高等教育機関への理解を深めることで、引き続き学園都市八王子の実現を目指す。		
9		講座・教室	教養的なもの	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	夏休み子どもいちょう塾	大学コンソーシアム八王子加盟校の先生たちが、その大学・学部等の特色を活かして、子どもたちに夏休みの特別教室を開講する。	大学コンソーシアム八王子加盟校の先生たちが、その大学・学部等の特色を活かして、子どもたちに夏休みの特別教室を開講する。	子ども	1	374	補助	通常通り実施	対面実施	市内小学校4～6年生全児童にパンフを配布した。また、昨年度に引き続き、修了証を発行した。消毒、マスク着用は必須としたが、前年度は禁止した保護者の入室は許可した。	普及・啓発等	アンケート調査により、高等教育機関への理解が深まった70%以上	大学等への印象が良くなったと回答した児童は97%、保護者は77%	A	参加児童数の増(令和4年度:374人)	取組の継続	イベントへの参加を通じて、高等教育機関への理解を深めることで、引き続き学園都市八王子の実現を目指す。	1,716	1,420	1,912	学園都市文化課(ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)
10		講座・教室	青少年育成・体験活動	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	謎解き!脱出ゲーム	子ども向けグループワークプログラムとして、提示された課題をグループで話し合い協力しながら解決することで協調性等を育む。	子ども向けグループワークプログラムとして、提示された課題をグループで話し合い協力しながら解決することで協調性等を育む。	子ども	7	92	市単独	変更して実施	対面実施	昨年度は新型コロナウイルスの感染防止に配慮し、小規模に1回開催した。令和4年度は、感染者が減った時期に児童館3館がそれぞれの施設で企画して実施した。	数参加者数・利用者数・利用者数	1回開催	7回開催	A	未定	改善・見直しの実施	令和5年度は、児童館が子ども・子育てに関する課題に対し、新たな体制を組み、新たな取組を開始する年度となるため、本件については実施の有無を含め、未定である。	0	0	0	青少年若者課(児童館)
11		講座・教室	青少年育成・体験活動	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	学校等への車いす等体験学習	高齢者や障害者への理解を深め、福祉のまちづくりを行う。	児童・生徒を中心に、福祉講話・車いす体験・高齢者疑似体験・点字体験・アイマスク体験を実施する。	子ども	75	5,686	補助	変更して実施	対面実施	車いす体験、高齢者疑似体験では、用具の貸し出しを行い、教員が説明できるようマニュアルを配付した。障害当事者による講話、点字体験では講師の派遣を行った。アイマスクについては消毒維持管理が難しいため、貸出中止とした。	用参加者数・利用者数・利用者数	対応件数 60件 参加者数 4,000人	実施件数 75件 参加者数 5,686人	A	対応件数 80件 参加者数 6,000人	取組の継続	学校からの予約が2学期以降に集中するため、調整が困難な場合にはお断りする可能性もある。事業内容、実施方法を含め再検討を行う。	127	127	250	社会福祉協議会市民力支援課
12		講座・教室	社会貢献活動	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	夏休み体験ボランティア活動	夏休み期間を利用して、若年層のボランティアへの参加を促し、福祉に対する理解を深めてもらう。	中学生から青年など若年層を対象に夏休み期間を利用して、高齢者施設・障害者施設・保育園等の協力のもと、ボランティア活動を体験することで、住民主体での福祉のまちづくりを行う。	若者	1	53	補助	変更して実施	どちらにも実施	コロナ禍でも実施できるように、対面活動および非接触活動を選択できるようにした。また、メニュー数を増やして実施した。	数参加者数・利用者数・利用者数	50人	53人	A	50人	取組の継続	福祉施設の協力をいただきながら、対面活動を中心に実施。また、単発の活動メニューも継続して実施する。	127	28	133	社会福祉協議会市民力支援課
13		イベント等	青少年育成・体験活動	003	青少年の海外交流・都市間交流の実施	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	青少年海外交流	海外の青少年と交流し、国際理解を深め、異文化・外国語でのコミュニケーション体験により国際的視野を持った青少年を育成する。	海外の青少年と交流し、国際理解を深め、異文化・外国語でのコミュニケーション体験により国際的視野を持った青少年を育成する。	市内在住の中学生	1	12	市単独	変更して実施	オンライン実施	事前研修で現地視察を実施した。また、交流会の最後にティータイムを設け、お互いに送り合ったお茶とお菓子を試食した。文化を直接体験することで、実感を持って理解し、それを相手に伝えることを学んだ。	参加者の満足度	参加者アンケートの項目における『このよ交流会にまた参加したいか』の設問に『はい』と回答した参加者の割合が80%以上	アンケートで「交流会に参加してよかった」と答えた割合が100%	A	参加者アンケートの項目における『参加前後で、海外や外国語への興味・関心が向上したかどうか』の設問に『はい』と回答した参加者の割合が80%以上	取組の継続	コロナ禍によりオンライン交流になっていたが、令和5年度は現地派遣を実施する。社会情勢を把握して、安全安心な渡航が実現するよう準備し、かつ直接交流する意義を充分に引き出すよう計画する。	5,730	28	6,407	学習支援課
14		イベント等	青少年育成・体験活動	003	青少年の海外交流・都市間交流の実施	3-4	未来につながる文化の継承と創造	北海道白糠町小学生交流事業	本市と歴史的なゆかりのある北海道白糠町の小学生と交流し、互いの地の歴史や文化を学ぶとともに、友情を育み、親善を深め、相手を思いやる心を醸成する。	本市と歴史的なゆかりのある北海道白糠町の小学生と交流し、互いの地の歴史や文化を学ぶとともに、友情を育み、親善を深め、相手を思いやる心を醸成する。	—	—	—	—	全面中止・延期	—	令和4年度は北海道白糠町の小学生を八王子市に招き、本市の小学生と交流予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、宿泊を伴う交流事業は中止とした。	参加者の満足度	参加者アンケートにおける『交流事業に参加してよかったか』の設問に対して『よかった』と回答した参加者の割合が100%	—	評価なし	参加者アンケートにおける『交流事業に参加してよかったか』の設問に対して『よかった』と回答した参加者の割合が100%	取組の継続	令和5年度は八王子市の小学生が北海道白糠町を訪問予定である。感染症対策を徹底したうえで、本市と白糠町の歴史や文化の学習・体験を通じて友情や郷土を愛する心を育む。	1,035	136	2,376	文化財課
15		講座・教室	教養的なもの	004	人生を豊かにする多様な講座の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	市民自由講座	歴史、文学、健康等、多種多様な分野の講座を市民団体・大学・企業などと連携して実施し、市民の生涯学習活動のきっかけを提供する。	歴史、文学、健康等、多種多様な分野の講座を市民団体・大学・企業などと連携して実施し、市民の生涯学習活動のきっかけづくりとする。	どなたでも	118	3,201	市単独	通常通り実施	対面実施	定員制限等の感染対策を講じた上で3館合計118講座を開催し、3,201名が参加した。(参考:令和3年度は103講座、2,822名参加)	参加者の満足度	満足度80%以上	アンケートで「大変満足」「満足」と答えた割合85%	A	満足度80%以上	取組の継続	講座を実施し、市民の生涯学習活動のきっかけづくりとする。	2,221	1,893	2,063	学習支援課
16		講座・教室	教養的なもの	004	人生を豊かにする多様な講座の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	八王子学園都市大学(いちょう塾)	市民が意欲をもって学ぶことができる場を提供する。大学等の高度で専門的な学習機会を継続的に提供し、市民の生きがいづくりやまちの活性化に貢献することを旨とする。	大学等の高度で専門的な学習機会を継続的に提供し、市民の生きがいづくりやまちの活性化に貢献することを旨とする。	成年	180	3,607	委託	通常通り実施	どちらにも実施	コロナの感染対策を行いながら講座定員数を通常時の5～7割程度にして開催。講師の体調不良で1講座中止。公開講座については、年間16講座開催。16講座中6講座はオンデマンド配信も行い、内1講座はリアルタイム配信も行った。	参加者の満足度	95%以上	前期一般講座92.2% 後期一般講座95.8%	B	95%以上	取組の継続	一般講座、公開講座合わせて年間300講座を目標に開催する。その内8講座はオンライン配信も実施する。また、リカレント講座も実施する。	61,895	55,836	57,050	学園都市文化課(公財)学園都市文化(ふれあい財団)

番号	新規	種類	分野	生涯学習プラン 具体的な施策		未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的	事業内容	令和4年度 実績		令和4年度の目標および評価				令和5年度 目標設定		令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 決算 (千円)	令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 担当課 (実施主体)						
				NO	施策名	No	基本施策				対象者	回数	参加者数 (人)等	実施 形態	の コ ン タ クト の 取 り 方	実施 方法	令和4年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 価					令和4年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和5年度目標値	方向性	
17		講座・教室	家庭生活	004	人生を豊かにする多様な講座の提供	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	消費生活講座・講演会	消費者の自立を支援するため消費生活に関する学習の機会を提供する。	自立し、自ら行動する消費者市民を育て、各種消費生活講座・講演会等を開催し、消費者への啓発を図る。	どなたでも	①都共催講座1(共催・対面) ②月間講演会1(共催・対面、オンライン) ③消費生活講座2(市単独・対面)	共催	①24 ②26 ③50	変更して実施	どちらも実施	講座開催にあたっては、コロナウイルス感染症防止の観点から、募集人数を減らして開催した。	参加者の満足度	参加者の90%以上が高評価	参加者へのアンケート調査より ①95% ②89% ③85%	B	参加者の90%以上が高評価	取組の継続	【課題】 多くの市民に消費生活についての情報を伝え、消費者被害防止につなげるかや消費者市民を育てるための情報の提供をいかにするか。 【方向】 消費者被害防止のための内容の講座や、自らの消費行動が与える地球環境への影響などの興味や関心を深めるための講座を実施する。	100	6	66	消費生活センター
18		講座・教室	教養的なもの	005	郷土の歴史や文化財に親しむ	3-4	未来につながる文化の継承と創造	郷土資料館講座・体験学習	郷土の歴史や文化への関心を高めると共に理解を深める。	郷土の歴史や文化財への関心を高めるような講座及び体験学習を実施する。	どなたでも	6	196	市単独	変更して実施	対面実施	講座については、企画展「戦時下の生活」の関連講座として「八王子空襲の体験談を聞く」「戦争体験を聞く」の2講座を実施した。出張講座は郷土史研究グループ等を対象に4件実施した。体験学習については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等に鑑み、昨年度に引き続き実施を見送った。	件参加者数・利用者数・利用者数・利用者数	参加者125人以上	196人	A	参加者125人以上	取組の継続	講座について、郷土の歴史や文化財への関心を高められるよう、企画展に関連付けるなど興味を引く方法で、引き続き実施する。体験学習については、感染防止対策を講じた上で実施する。	18	0	12	文化財課(郷土資料館)
19		講座・教室	教養的なもの	005	郷土の歴史や文化財に親しむ	3-4	未来につながる文化の継承と創造	文化財見て歩き	郷土の歴史や文化に親しみ、理解を深めるため、地域の文化財を市民に紹介しながら巡る。	郷土の歴史や文化に親しみ、理解を深めるため、地域の文化財を市民に紹介しながら巡る。	どなたでも	1	49	市単独	変更して実施	対面実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、回数や定員を調整し開催した。	参加者の満足度	参加者の7割以上が「満足」と回答	参加者の9割以上が「大変満足」「満足」と回答	A	参加者の7割以上が「満足」と回答	取組の継続	感染症対策を継続し、市民が本市の歴史文化や身近な地域について学び、郷土に対する愛着と理解を深める機会を提供する。	6	2	5	文化財課
20		イベント等	教養的なもの	005	郷土の歴史や文化財に親しむ	3-4	未来につながる文化の継承と創造	八王子車人形と民俗芸能の公演	八王子車人形や説経節(説経浄瑠璃)・獅子舞・木遣などの公演を通して、市固有の伝統芸能への興味を深めるとともに、伝統芸能の継承について理解と関心を高める。	八王子車人形や説経節(説経浄瑠璃)・獅子舞・木遣などの公演を通して、市固有の伝統芸能への興味を深めるとともに、伝統芸能の継承について理解と関心を高める。	どなたでも	1	583	委託	通常通り実施	対面実施	座席の間引きによる密の回避や検温・手指消毒の協力依頼など感染症対策を徹底したうえで、3年ぶりに開催した。	数参加者数・利用者数・利用者数	参加者500人	583人	A	参加者500人	取組の継続	公演を通して、市固有の伝統芸能への興味を深めるとともに、伝統芸能の継承について理解と関心を高めるため、取組を継続していく。	1,589	1,589	1,582	文化財課
21		イベント等	教養的なもの	006	文化芸術に触れる	3-4	未来につながる文化の継承と創造	八王子市民文化祭	市民による文化活動の発表と市民への鑑賞の機会を提供し、市民文化の振興を図る。	市民による文化芸術活動の発表及び市民への鑑賞の機会を提供することにより、市民文化の振興を図る。	どなたでも	24	参加者1,668 来場者数9,665	共催	変更して実施	対面実施	引き続きコロナ禍での開催となったが、昨年開催した実績から参加者数及び来場者は増加した。既存の周知方法に加えて、HPやWEBメディアへ掲載するなど新たな周知方法を取り入れることで、市民による文化活動の発表と市民への鑑賞の機会を提供し、市民文化の振興を図ることができている。	等参加者数・利用者数・利用者数	参加者・来場者数の増(令和3年度:参加者1,012人、来場者数6,942人)	参加者1,668人 来場者数9,665人	A	参加者・来場者数の増(令和4年度:参加者1,668人、来場者数9,665人)	取組の継続	参加者、来場者数は増加傾向に転じたものの、まだコロナ禍前の実績には及ばない。引き続き、SNS等を活用して広い世代に向けて周知することで、市民による文化活動の発表と市民への鑑賞の機会を提供し、市民文化の振興を図っていきたい。	6,070	5,891	6,010	学園都市文化課
22		イベント等	教養的なもの	006	文化芸術に触れる	3-4	未来につながる文化の継承と創造	八王子コミュニティオペラ	市民に身近な場所で、質の高い優れた芸術や文化を鑑賞・参加体験する機会を提供する。 ・プロやセミプロを目指す若手演奏家を育成するため、オーディションを実施し、若手演奏家に実演の機会を提供する。	市民に身近な場所でオペラ合唱を学ぶ機会を提供し、文化芸術への市民参加の普及を促進する。	どなたでも	1	418	補助	通常通り実施	対面実施	令和2年度から3年度は新型コロナウイルスの影響で中止。財団20周年記念事業の一環として、これまでの公演を振り返りつつ、令和5年度からの活動再始動に向けた内容を盛り込み、トークコンサートを行った。	利用参加者数等・利用者数	入場率70%以上を目標とする。	52% 418/802人	B	参加者200名(10回)	改善・見直しの実施	令和2年度から4年度まで休止してきた市民向けワークショップを再開し、令和7年度上半期に予定する本公演に向けて機運を高めていく。	998	1,729	3,659	学園都市文化課(ふれあい財団・芸術文化振興課)
23		その他	子育て	007	読書のまち八王子の推進	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	乳幼児の読書活動支援	乳幼児から読書にふれる機会を提供することにより、読書習慣の啓発を図る。	ブックスタート事業やおはなし会、それに伴う出張型利用者登録など、発達段階に応じた切れ目ない読書活動支援により、図書館の利用を促進し、乳幼児の読書習慣の形成を図る。	乳幼児	【ブックスタート】72 【おはなし会】134	【ブックスタート】2,772 【出張型利用者登録数】1,117 【おはなし会】1,549	市単独	変更して実施	対面実施	【ブックスタート】感染症拡大を受け、対面での読み聞かせを中止し、絵本などのセット配布のみを実施した。 【出張型利用者登録】全保健福祉センターに拡大し積極的に利用促進を図った。 【おはなし会】図書館主催、協力団体との共催の2種類を実施し、受付時に連絡先を確認するなど、感染症への対策も取りながら開催した。	その他	【ブックスタート】の参加者数】2,819人 【出張型利用者登録数】1,313人 【おはなし会】934人	【ブックスタート】の参加者数】2,772人 【出張型利用者登録数】1,117人 【おはなし会】1,549人	B	【ブックスタート】の参加者数】2,647人 【出張型利用者登録数】1,117人 【おはなし会参加者数】1,549人	取組の継続	【ブックスタート】令和6年度の対面読み聞かせ再開に向けて、ボランティアの確保、研修等を行う。 【出張型利用者登録】引き続き行うことで、図書館利用の拡大を図る。 【おはなし会】新型コロナウイルスへの対応が5月以降に変更された場合は、感染防止を意識したうえで、賑やかな会を再開していく。	2,885	2,641	2,302	図書館課
24		イベント等	趣味的なもの	007	読書のまち八王子の推進	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	本のPOPコンテスト(R2までは「読書感想文・読書感想文コンクール」を実施)	POP作りを通して、より主体的に読書体験を通じた感動を表現し、豊かな人間性を育て共に、読書習慣の習得・読書活動の振興を図る。	子どもたちが読書に親しむことを目的に、市内在住の小学生～大学生を対象に、本のPOPコンテストを開催した。	若者	1	3,201	市単独	通常通り実施	対面実施	昨年度の応募数より減少したが、昨年度よりも完成度が高い作品が多く、厳選された作品が提出され集まった印象を受けた。2回目の実施ということもあり、学校や学校図書館司書等への説明は昨年度よりスムーズにできた。	利用参加者数等・利用者数	前年度(4,122点)を上回る応募作品数	3,201	B	前年度(3,201点)を上回る応募作品数	取組の継続	市GIGAスクール構想の開始を受け、デジタルツールを用いて作成した作品についても受賞を行ったところ、受賞に至った作品もあったことから、作成意欲の向上や創造力を発揮する機会を提供する場として、今後も多様な媒体を受け入れていく必要がある。	71	69	71	図書館課

番号	新規	種類	分野	生涯学習プラン		未来デザイン2040		事業名	事業目的	事業内容	対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	令和4年度 実績		令和4年度 目標および評価				令和5年度 目標設定							
				NO	施策名	No	基本施策								指標	実績	令和4年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和5年度目標値	方向性	令和5年度の課題と方向(120字程度)	令和4年度予算(千円)	令和4年度決算(千円)	令和5年度予算(千円)	令和5年度担当課(実施主体)		
				実施方法	実施状況	指標	実績								評価	方向性	理由	予算	決算	予算	担当課							
25		その他	社会貢献活動	007	読書のまち八王子の推進	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	地域の学校との連携活動	図書館業務を体験し、理解していただくことにより、図書館の魅力を伝えるとともに利用についての普及啓発を図る。	職場体験や選書体験等を通じた図書館と子どもたち(小学生～高校生)との交流を通して、子どもたちに図書館の機能や魅力を伝えるとともに、図書館に対する意見等を聞くことで、子どもたちの図書館ニーズを把握し、子どもたちの図書館利用を促進する取組等につなげる。	子ども	67	1,864	市単独	通常通り実施	対面実施	コロナ前に近い状態で地域の学校の児童・生徒の年齢に応じた見学や体験メニューを提供することができた。	参加者数・利用者数・利用件数等	892人	1,893	A	参加者数1,000人	取組の継続	地域の小中学校との連携を強化し、図書館の機能や魅力を伝え、また児童や生徒の図書館ニーズを把握する機会として幅広く受け入れる。また、職場としての図書館で「働く」という視点も意識しメニューに取り入れていく。	—	—	—	図書館課
26		講座・教室	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	八王子千人塾	高齢者が図書館を使った調査法などを学ぶ講座で、交流を図りながら興味を持ち続けることで、生きがいづくりを創出する。	中央図書館が毎年開催する60歳以上の市民を対象とした生涯学習支援事業。図書館の使い方・資料検索方法・論文の書き方等の講座を開催している。	シニア	1	11	共催	通常通り実施	対面実施	開催時期や定員を従来の形に戻したほか、講座日数を1日増やし、内容の充実を図った。	等者参加者数・利用者数・件数	修了者数5名	11	A	講座修了者10名	取組の継続	講座修了者の自主グループである「塾生の会」と連携しながら内容の充実を図るとともに、修了後も調べ学習を継続できる環境を提供する。	—	—	—	図書館課
27		その他	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	図書館おすすめ“ぶっくばっく”	普段は手に取らない新たな本の出会いを提供し、気になるテーマの本について市民の読書活動の質の向上を図る。	普段は手に取らない新たな本の出会いを提供し、市民の読書活動の質の向上を図るため、図書館司書が選んだ本を3～5冊にパック化し、お楽しみパックとして貸し出す事業。	どなたでも	通年実施	【全館合計貸出冊数】2,523冊	市単独	通常通り実施	対面実施	館によっては季節限定でのパックの作成・貸出を行うなど、飽きさせない工夫を行った館もあった。	その他	【全館合計パック数】1,212パック 【全館合計貸出冊数】3,134冊	【全館合計貸出冊数】2,523冊	B	【全館合計貸出冊数】2,523冊	取組の継続	新型コロナウイルスの影響も落ち着き、書架を自由に見て回れることが当たり前となって来たなかで、あえて「ぶっくばっく」を借りる誘因をいかに作るか、イベント性等を工夫していく。	—	—	—	図書館課
28		情報提供・環境整備	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	新たな読書空間“パークライブラリー”	コロナ禍において来館者が減少している中、市民の身近で安心・安全な読書環境を整備するとともに、公園において、本を通じた地域のゆるやかなつながりを創出する。	「新しい生活様式」における身近な読書環境を整備するとともに、読書の普及啓発や図書館情報の効果的な発信を行い、地域の情報拠点として地域コミュニティの活性化に寄与するため、公園を活用し、新たな読書空間の創出やおはなし会等のイベントを実施する。	どなたでも	南大沢:2 川口:2	南大沢:650人 川口:1,148人	市単独	通常通り実施	対面実施	南大沢:春のパークライブラリーでは新たに小山内裏公園で実施。(秋は前年と同様に長池公園で実施)。内容については特に変更なし。川口:秋のパークライブラリーは、コロナ感染が落ち着いた11月にやまゆり館まつりと同日、同会場で開催のため、集客率が増えた。	等事業の再構築・充実・拡大	年2回の実施	南大沢:2回 川口:2回	A	年4回の実施	取組の継続	地域と連携した事業として定着しつつあり、新型コロナウイルス感染症の感染状況によるが、継続して実施する。なお、令和5年度には新たに陵南公園との連携により、中央図書館が実施する。	—	—	—	図書館課
29		その他	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	非来館型サービスの拡充	新型コロナウイルス感染拡大防止や、その他の理由により図書館に来館できなくても図書館サービスの提供を受けられるよう普及啓発を図る。	電子書籍・Webサービスの拡充や非来館型利用者登録の実施により、図書館に来館せずに、図書館利用者登録や読書ができる環境を整備し、「新しい生活様式」における身近な読書環境の整備を図る。	どなたでも	—	【電子書籍貸出数(令和5年3月時点)】35,518回【タイトル数(令和5年3月時点)】15,769点	市単独	通常通り実施	オンライン実施	これまでの電子書籍や電子雑誌、ナクソスミュージックライブラリーなどのサービスを継続して実施することに加え、新たに電子申請を用いたオンラインリクエストの受付を開始し、非来館型サービスの拡充に努めた。	件数・利用者数・利用件数等	前年度(貸出数48,956回、タイトル数15,997点)を上回る利用状況	【電子書籍貸出数(令和5年3月時点)】35,518回【タイトル数(令和5年3月時点)】15,769点	B	前年度(貸出数35,518回、タイトル数15,769点)を上回る利用状況	取組の継続	電子書籍や電子雑誌、ナクソスミュージックライブラリーなどのサービスを継続して実施することに加え、新たに電子申請を用いたオンラインリクエストの受付非来館型サービスの拡充に一層努めていく。	6,628	5,038	7,000	図書館課
30		講座・教室	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ネオテニス教室	八王子市発祥のニュースポーツ「ネオテニス」の普及啓発を図る。	親子参加型のスポーツの場を提供し、八王子市発祥のニュースポーツ「ネオテニス」の普及啓発を図る。	小学校3年以上	1	31	市単独	通常通り実施	対面実施	3年ぶりに教室を実施し、延145人の方が参加した。	利用参加者数等	60人	31	B	60	取組の継続	新型コロナウイルス感染症の影響で減少した参加者数を増やすため、周知方法等検討して実施する。	63	46	30	スポーツ振興課
31		イベント等	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ヘルシーウォーキング	市内の名所や自然を感じる施設を巡るウォーキング大会。本事業により、市民の体力、健康増進意識の向上を図る。	市内の名所や自然を感じる施設を巡るウォーキング大会。本事業により、市民の体力、健康増進意識の向上を図る。	どなたでも	1	287	委託	通常通り実施	対面実施	一斉スタートからウェブスタートに変更し、3年ぶりに事業を実施した。	等者参加者数・利用者数・件数	1,000人	287人	B	500人	取組の継続	新型コロナウイルス感染症の影響で減少した参加者数を増やすため、周知方法等検討して実施する。	525	455	570	スポーツ振興課
32		講座・教室	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	夏山登山入門	スポーツ・レクリエーションの普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で登山に必要な知識を身に付ける講習会を開催する。	スポーツ・レクリエーションの普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で登山に必要な知識を身に付ける講習会を開催する。	高校生以上	1	12	共催	変更して実施	対面実施	講義回数を減らしたり、実技の場を市外から市内へ変更するなどして実施した。	等者参加者数・利用者数・件数	50人	12	B	50人	取組の継続	周知方法等を見直しつつ、引き続き実施する。	0	0	0	スポーツ振興課
33		イベント等	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ふれあい運動会	運動会をとおして、障害のある人もない人も共に楽しみ理解を深めあうことにより、ノーマライゼーションの意識の普及を図る。	障害者や支援者・ボランティアなどが自主的に運動会を企画・運営し、障害のある人となない人との交流と障害に関する理解を促進する。	—	—	—	—	全面中止・延期	—	等者参加者数・利用者数・件数	参加団体目標40団体	—	評価なし	参加団体目標40団体	取組の継続	コロナの状況を注視しながら、安全な運動会の開催について模索していく。	2,216(内800千円は市予算)	—	2,216(内800千円は市予算)	0	障害者福祉課

番号	新規	種類	分野	生涯学習プラン 具体的な施策		未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的	事業内容	令和4年度 実績		令和4年度の目標および評価				令和5年度 目標設定				令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 決算 (千円)	令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 担当課 (実施主体)				
				NO	施策名	No	基本施策				対象者	回数	参加者数 (人)等	実施 形態	のこ り 響 ナ	実施 方法	令 和 4 年 度 の 実 施 状 況 昨 年 度 と の 比 較 ・ 変 更 点 具 体 的 に (120字以内)	指 評 標 価	令 和 4 年 度 目 標 値	目 標 値 に 対 する 実 績 値					評 価	令 和 5 年 度 目 標 値	方 向 性	令 和 5 年 度 の 課 題 と 方 向 (120字程度) 廃止・休止の場合はその理由
34		情報提供・環境整備	仕事に必要な取得技能、資格の取得	009	社会人の学び直しの支援(リカレント教育)	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	社会人の学び直し情報の提供	リカレント(学び直し)の推進	社会人が学び直しをする際に必要となる情報を、関連する所管や機関、大学等と連携して集め、提供する。	どなたでも	—	—	市単独	通常通り実施	—	市の実施する講座、学園都市大学いちょう塾の講座、大学公開講座、都立高校の公開講座、放送大学、職業能力開発センターの情報を発信した。また、東京都が運営する「東京リカレントナビ」と連携する等、アプリの普及のための取り組み取組を行った。	普及・啓発等	・アプリの継続的かつ効果的な運用。 ・掲載する講座内容の精査。	継続的にアプリを運用できた。	A	・アプリの継続的かつ効果的な運用。 ・アプリの新規ダウンロード数300以上。	取組の継続	・掲載している講座の大半が趣味、教養系の講座等であり、「社会人の学び直し」支援のためのアプリとしては掲載内容に乖離がある。 ・今後のアプリの在り方について検討する。 (いずれも令和4年度からの継続課題)	396	396	396	学習支援課
35		講座・教室	仕事に必要な資格の取得	009	社会人の学び直しの支援(リカレント教育)	5-2	まちの活力を創出する産業	本気の創業塾	創業に必要な経営ノウハウ等を学ぶ機会及び経営者としての覚悟、気づきを得る機会を創出するとともに、同じ志を持つ者のネットワーク構築を図る。	市と商工会議所が共同で運営するサイバーシルクロード八王子において、八王子で創業したい人を対象に創業に必要な基礎知識を学ぶ機会を提供する。	どなたでも	6	17	共催	通常通り実施	対面実施	昨年度は新型コロナウイルスの影響により定員を12名としていたが、本年度は定員を20名とし、対面での実施とした。	その他	受講生:25人 創業者:7人	受講生:17名 創業者:3人	B	受講生:25人 創業者:7人	取組の継続	引き続き創業希望の市民等に創業に必要な知識や、横のつながりを生み出すための取組を継続する。	579	579	784	産業振興推進課
36		講座・教室	情報端末・インターネットに関するもの	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいをもち安心できる地域づくり	パソコン・タブレット教室	障害者の情報収集手段としてIT機器を有効活用ができるよう、障害別に有用なアプリや使用方法について紹介し、日常生活の向上を図る。	障害者の情報収集手段としてIT機器を有効活用ができるよう、障害別に有用なアプリや使用方法について紹介し、日常生活の向上を図る。障害によって会場まで行くことができない人を対象に、訪問相談を実施する。	障害者	94	1,195	指定管理者	通常通り実施	対面実施	新型コロナウイルスの感染拡大に落ち着きが見られるようになり、それに伴いパソコン学習会の参加者数増加、訪問相談の依頼が増えている。	数・参加者数等・利用者数	参加者目標1,000名	1,195名(目標値に対する参加割合119%)	A	参加者目標1,200人	取組の継続	ICTの活用を必要としている障害のある方たちへの、柔軟な対応が求められている。その対応に求められる人材の養成、確保	1,606	1,648	1,708	障害者福祉課
37		講座・教室	健康・スポーツ	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいをもち安心できる地域づくり	見えにくいになった方の学習	中途視覚障害者の日常生活の向上を図る。	中途視覚障害者を主な対象者として、点字の学習、歩行訓練等を行い、日常生活の向上を図る。	障害者	23	287	指定管理者	変更して実施	対面実施	新型コロナウイルスが感染拡大した事から、講座を休止した期間があった。	数・参加者数・利用者数・数利用者	講習会実施回数31回	23回(目標値に対する実施回数74%)	B	講習会実施回数25回	取組の継続	歩行訓練の指導を希望する受講生への対応(市内には歩行訓練に時間がかかること、日常のコミュニケーション手段として活用できるまでには継続的な学習が必要であること)。	433	332	433	障害者福祉課
38		講座・教室	社会貢献活動	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいをもち安心できる地域づくり	中途失聴難聴者のための手話講習会	中途失聴難聴者が、自らのコミュニケーション手段として手話を習得するほか、情報交換の場の提供。	中途失聴難聴者が、自らのコミュニケーション手段として手話を習得する場として実施する(入門・初級・中級・上級の4クラス)ほか、中途失聴難聴者同士の情報交換の場としている。	障害者	57	481	指定管理者	変更して実施	対面実施	新型コロナウイルスが感染拡大した事から、入門・中級コースは回数を減らし実施した。	数・参加者数・数利用者	講習会実施回数70回(全コース合計)	57回(目標値に対する実施回数81%)	B	講習会実施回数66回(全コース合計)	取組の継続	高齢の受講生が多く、手話の習得に時間がかかること、日常のコミュニケーション手段として活用できるまでには継続的な学習が必要であること。	1,142	827	1,142	障害者福祉課
39		その他	趣味的なもの	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいをもち安心できる地域づくり	障害のある人も参加しやすい交流活動の場	障害者等が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むこと	障害者の孤立化を防止するため、気軽に利用できる交流活動の場として地域活動支援センターを運用し、創作的活動、生産活動の機会を提供、社会との交流の促進を図る。	障害者	—	4,130	委託	変更して実施	対面実施	感染防止対策をとりながら、安心・安全な交流の場が確保できたため、参加者が増加した。	数・参加者数・数利用者	前年度(3,212人)と同程度	4,130人(目標値に対する参加者数128%)	A	前年度(4,130人)と同程度	取組の継続	感染防止対策をとりながら、障害者の孤立化を防止するための活動を継続していく。	46,458	44,195	46,458	障害者福祉課
40		イベント等	社会貢献活動	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいをもち安心できる地域づくり	福祉まつり	事業に対して費用等を助成し、障がい者福祉の発展を図る。	市内の社会福祉施設・団体が手作りの作品や食品を販売するほか、ステージ上で太鼓や手話コーラスなどの活動発表を行い、施設利用者と地域住民との交流を図るとともに、福祉ボランティア活動に対する市民の関心と参加を高める。	—	—	—	全面中止・延期	—	—	新型コロナウイルスの感染の終息が見られず、参加施設・団体から不参加の表明があったため中止した。	普及・啓発等	中止	中止	評価なし	3年ぶりの開催	改善・見直しの実施	令和4年7月から検討委員会を立ち上げ、11月にアンケートを実施し、81%の回答をもとに、5月20日の土曜日に開催することとした。また、開催場所の見直しも行う富士森公園から西放射線ロードでの試行開催とした。令和5年2月に募集を図ったところ、23団体の参加で実施する。	1,200	0	400	社会福祉協議会市民支援課
41		イベント等	社会貢献活動	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいをもち安心できる地域づくり	障害者文化展	障害のある人に作品発表の機会を提供するとともに、障害者福祉・障害理解の促進に努める	障害のある人に作品発表の機会を提供するとともに、広く障害者福祉の啓発を行い、賞を贈るなど今後の創作を奨励する。	障害者	5日間	作品出展数51点	指定管理者	通常通り実施	対面実施	新型コロナウイルスの感染拡大により、令和3年度はWeb開催としたが、令和4年度は3年ぶりに会場での開催とした。	数・参加者数等・利用者数・数利用者	作品出展数190点	51点(目標値に対する作品出展数26%)	B	作品出展数100点	取組の継続	作品募集の周知方法、作品の会場展示・撤去作業の負担	139	116	139	障害者福祉課
42		講座・教室	健康・スポーツ	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	市民いきいきリフレッシュ体操	市内の各市民センターで健康体操教室を開催し、市民の健康維持・増進を図る。	市内の各市民センターで健康体操教室を開催し、市民の健康維持・増進を図る。	どなたでも	183	4,114	市単独	通常通り実施	対面実施	二部制を導入し、市民が参加できる機会を増やした。	数・参加者数・数利用者	4,500人	4,114人	B	4,500人	取組の継続	市民の健康維持・増進を図るため、引き続き実施する。	7,402	7,099	7,237	スポーツ振興課
43		講座・教室	教養的なもの	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ゆうゆうシニア講座	シニア世代に対して健康維持や生きがいづくりの機会を提供する。	シニア世代の健康維持や生きがいづくりを目的に、パソコン・タブレット・スマートフォンなどのICTに関連する講座や健康維持に関するプログラムなどを提供する。	シニア	45	1,058	市単独	通常通り実施	対面実施	定員制限等の感染対策を講じた上で3館合計45講座を開催し、延べ1,058名が参加した。生活の質の向上に繋がる講座を多く実施した。(参考:令和3年度は35講座、888名参加)	参加者の満足度	満足度85%以上	アンケートで「大変満足」「満足」と答えた割合84%	A	満足度85%以上	取組の継続	講座を実施し、ICT関連講座や健康維持に関するプログラムなどを提供していく。	1,254	803	995	学習支援課

番号	新規	種類	分野	生涯学習プラン具体的な施策		事業名	事業目的	事業内容	令和4年度 実績					令和4年度の目標および評価				令和5年度 目標設定			令和4年度予算(千円)	令和4年度決算(千円)	令和5年度予算(千円)	令和5年度担当課(実施主体)				
				NO	施策名				対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	のコロナ影響	実施方法	令和4年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 目標値	令和4年度目標値	目標値に対する 実績値	評価	令和5年度目標値					方向性	令和5年度の 課題と方向(120字程度) 廃止・休止の場合はその理由		
				No	基本施策																							
48		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	012	性や国籍にかかわらず社会参画につながる学び	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	男女共同参画に係る講座の開催	男女共同参画社会の実現に向けて、一人一人の個性と能力を発揮できるよう意識啓発を行う。	男女共同参画社会の実現に向けて、一人一人の個性と能力を発揮できるよう、意識啓発や参画のための学習機会を提供する。	どなたでも	2回	76人	市単独	通常通り実施	対面実施	新型コロナウイルス感染症の感染予防に留意しつつ、対面形式で開催した。	参加者の満足度	アンケートで「大変満足」または「おおむね満足」と答えた割合90%	アンケート集計結果における満足度 98.6%	A	アンケートで「大変満足」または「おおむね満足」と答えた割合90%	取組の継続	男女共同参画社会の実現に向けて、意識啓発や能力発揮につながる講座を開催する。	534	56	368	男女共同参画課
49		講座・教室	教養的なもの	012	性や国籍にかかわらず社会参画につながる学び	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	国際理解講座	多文化共生の推進を図る。	外国の文化への理解と外国人との交流を深め、多文化共生の推進を図る。	どなたでも	7	275	市単独	通常通り実施	対面実施	定員制限等の感染対策を講じた上で3館合計7講座を開催し、延べ275名が参加した。(参考:令和3年度は5講座、152名参加)	実・業・業の再構築・充	協働体制づくり	市内団体等と協働で7講座を実施	A	協働体制づくり	取組の継続	講座を実施し、多文化共生の推進を図っていく。	148	86	148	学習支援課

番号	新規	種類	分野	生涯学習プラン 具体的な施策	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	事業内容	令和4年度 実績										令和4年度の目標および評価				令和5年度 目標設定				令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 決算 (千円)	令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	コ ン シ ョ ウ の 実 施 方 法	令和4年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 標 価	令和4年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和5年度目標値	方向性	令和5年度の 課題と方向(120字程度) 廃止・休止の場合はその理由									
									NO	施策名	No	基本施策	事業内容	事業目的	事業内容	対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	コ ン シ ョ ウ の 実 施 方 法	令和4年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 標 価	令和4年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和5年度目標値				
50		情報提供・環境整備	子育て	013 地域全体で子どもの育ちを支える	3-1 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	家庭教育啓発リーフレット等の配布	家庭教育について、より広い層に関心をもってもらうとともに、地域で子育てを応援するよう啓発を行う。	子育て中の保護者や行政委員等にリーフレットを配布し、家庭教育について、より広い層に関心をもってもらうとともに、地域で子どもと子育てを応援するよう啓発を行う。	親子・保護者	1	5,060部	市単独	通常通り実施	—	市立小学校全校(義務教育学校を含む)の新小学1年生を対象にリーフレットを配布した。(5,060枚)	普及・啓発等	効果的な啓発及びリーフレットの配布	リーフレットの配布	A	効果的な啓発及びリーフレットの配布	取組の継続	市立小学校全校(義務教育学校を含む)の新小学1年生を対象にリーフレットを配布する。	176	176	0	学習支援課				
51		講座・教室	子育て	013 地域全体で子どもの育ちを支える	2-1 誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	はちおうじファミリー☆ファシリテーター養成講座	保護者同士や学校(教職員)・家庭・地域をつなぐ人材を養成する。	ファシリテーション能力を向上させる講座を開催し、保護者同士や学校(教職員)・家庭・地域をつなぐ人材を養成する。	—	—	—	—	—	—	平成31年度より未実施	数・参加者数・利用者数・利用数等	実施に向け検討	—	評価なし	実施に向け検討	取組の継続	人材の発掘及び担い手の育成の方法について検討を行う。	0	0	0	学習支援課				
52		講座・教室	子育て	013 地域全体で子どもの育ちを支える	3-1 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	ファミリー・サポート・センター事業	子どもを見て欲しい依頼会員とボランティアの提供会員による相互援助活動。	子育ての手助けをして欲しい人とお手伝いができる人が会員登録をして、子育てを地域で相互に助け合う活動を行う。	成年	4	213	補助	変更して実施	対面実施	提供会員に登録し、確実な支援につなげてもらえるよう、民生児童委員を対象に講習会を開催した。更に、提供会員の登録を見直し、登録者の整理を図った。	等事業の再構築・充実・拡大	提供会員数731人	提供会員数327人	B	提供会員数350人	取組の継続	利用者のニーズに応じた支援が行えるよう、安定した提供会員の育成及び確保	16,785	10,755	18,952	子ども家庭支援センター				
53		その他	子育て	013 地域全体で子どもの育ちを支える	3-1 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	学童保育所	市内の小中学校に就学している児童で、放課後家庭において保護者の適切な監護を受けられないものを一定時間、組織的に指導することにより、学童の健全な育成と福祉の増進に寄与する。	放課後に家庭で保育ができない児童を対象に、遊びを中心として異年齢集団の中で社会性を身につけさせながら、一人一人の子どもたちの健全な成長を手助けする。	子ども	月～土(ただし、祝日及び年末年始を除く)	令和4年4月1日時点の在籍児童数6,359人 延べ参加者数1,123,237人	指定管理者	通常通り実施	対面実施	小学校の放課後の特別教室等を活用し、本市で初めて待機児童ゼロを達成。また、夏季休業中の昼食提供を令和3年度は12校であったところ、21校に増加することができた。	その他	待機児童ゼロを達成するとともに、放課後の活動の充実を図る。	学校の余裕教室の借用等により、待機児童ゼロを達成した。また、昼食提供の回数を増し充実した放課後活動を提供した。	A	待機児童ゼロを維持する。	取組の継続	児童数が増加している小学校区について、学校内の整備や周辺のテナントを借用し待機児童ゼロを維持する。また、夏季休業中の昼食提供を拡充する。	2,686,999	2,479,835	2,648,419	放課後児童支援課				
54		その他	社会貢献活動	014 学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	3-2 未来をひらく子どもを育てる教育	教育人材バンクへのボランティア希望者の登録	地域ボランティア等の活用を図り、市立小・中学校および義務教育学校の教育活動を支援する。	学校と地域が一体となり、子どもを育む環境を整備するため、ボランティア希望者を人材バンクに登録する。	どなたでも	8,408	1,087	市単独	通常通り実施	対面実施	新型コロナウイルス感染症が落ち着いたため、ボランティア活動者が増加した。	利参加者数等・利用者数	地域人材の効果的な活用のすすめや、新たな人材発掘を積極的に行う。	広報・駅前ラック・はちバスを利用した募集活動を行った。	A	地域人材の効果的な活用のすすめや、新たな人材発掘を積極的に行う。	取組の継続	限られた人材を効果的に活用するためには、人材管理の仕組みの確立及び、新たな人材の発掘が今後の課題と考える。	13,047	10,076	9,599	地域教育推進課				
55		講座・教室	青少年育成・体験活動	014 学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	6-1 一人ひとりが考え、ともに守る環境	市立小学校における環境教育支援	市内小学校等の児童・生徒に対し、身近な環境について興味・関心を持つきっかけを提供する。	市内小学校等の総合的な学習の時間等に実施される環境教育実習に対して、講師の派遣等の支援を行う。	子ども	川の学習：27 みどりの学習：9	川の学習：支援校26校の生徒 みどりの学習：支援校5校の生徒	委託	通常通り実施	対面実施	令和4年度より新たな環境教育支援として緑地や里山をフィールドに実施する「みどりの学習」を新たに開始した。	利参加者数等・利用者数	支援校25校	川の学習：支援校26校 みどりの学習：支援校5校	A	支援校25校もしくは35以上の支援	取組の継続	より多くの学校に環境教育支援を行う。	1,127	1,127	1,127	環境政策課(委託先：特定非営利活動法人環境活動センター八王子)				
56		講座・教室	子育て	014 学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	3-1 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	放課後子ども教室	地域の人材、ボランティアの参画を得て、子どもたちに放課後の安全・安心な居場所を提供するとともに、学び・体験・遊び・交流活動等を行い、子どもの次世代を担う力を育成するためのしくみづくりに資する。	平日の放課後や週末、夏休み等に小学校の施設を活用し、地域の人やボランティアの参画を得て全ての子どもたちに安全で安心な居場所を提供する。	子ども	年間延べ実施日数8,751日	延べ参加者数845,612人	委託	通常通り実施	対面実施	昨年度は新型コロナウイルスの影響で事業の縮小・変更等を余儀なくされたが、令和4年度は、外での活動に限定するなどの変更の中でも、目標値を大幅に超える延べ参加者数の増加(約7万人増加)につなげることができた。	利参加者数等・利用者数	650,000人	延べ参加者数845,612人	S	850,000人	取組の継続	実施日数の拡充や活動内容の充実など、学童保育所との連携による放課後の居場所づくりと、持続可能な放課後子ども教室の運営(PTAや地域における世代交代など、運営団体の担い手不足)に取り組む。	255,624	196,618	262,221	放課後児童支援課(各小学校地区放課後子ども教室推進委員会)				
57		講座・教室	子育て	014 学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	3-1 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	放課後子ども教室と学童保育所との連携拡大	学童保育所の管理運営を行うとともに、放課後子ども教室と連携し、全ての放課後の児童の居場所づくりを一体的に推進する。	全ての児童の放課後の安全・安心な居場所を確保し、児童が多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後子ども教室と学童保育所の連携による一体型を推進する。	子ども	-	52校	委託	通常通り実施	対面実施	一体型での連携校が昨年度比で1校増え、52校とすることができた。更に、連携推進委員を9名配置し、一体的な運営を積極的に推進したほか、放課後子ども教室に参加する児童と学童保育所の児童がともに参加できるスポーツプログラム事業を新たに創設し、元プロ野球選手による野球教室を計33回、元Jリーガーによるサッカー教室を計33回実施した。	実事業の再構築・充実	51校	52校	A	54校	取組の継続	国の「新・放課後総合プラン」で示す「一体型」については目標と示す数を達成している。今後、学童保育所の学校内への移転や、両事業が連携し、ともに活動できる機会を更に拡充し、一体的な運営を進めていく。	3,234	3,234	39,396	放課後児童支援課				
58		講座・教室	子育て	015 子育て世代がつながるきっかけづくり	3-1 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	子育てひろば(親子ふれあい広場・親子つどいの広場など)	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所として、子育てについての相談、情報提供、助言・援助等を行う。	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所として、子育てについての相談、情報提供、助言・援助等を行う。	乳幼児及び保護者	1,926	23,763	委託	変更して実施	対面実施	人数制限・予約制が定着した中での子育ての相談、情報提供、助言や、援助等を行った。	充事業の再構築・充実	講座実施数2,000回	講座実施数1,926回	A	講座実施数2,000回	取組の継続	身近な相談場所としての安心して利用できる場の提供や支援	104,639	104,289	126,314	子ども家庭支援センター				

番号	新規	種類	分野	生涯学習プラン 具体的な施策	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	事業内容	令和4年度 実績										令和4年度の目標および評価				令和5年度 目標設定				令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 決算 (千円)	令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	コロナ 影響の 実施 方法	令和4年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 標 値	令和4年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和5年度目標値	方向性	令和5年度の 課題と方向(120字程度) 廃止・休止の場合はその理由									
59		講座・教室	子育て	015 子育て世代が つながるさっ かけづくり	2-1 誰もが心豊かに暮らせ る市民生活の推進	子育て応援 ひろば	子育ての中で生じる悩みを 解消し、子育て中の保護者 を支援する。	グループワークなどを通して子 育ての中で生じる悩みを解消 し、子育て中の保護者を支援 する。	親子・保 護者	4	51	市単独	通常 通り 実施	ど ち ら も 実 施	クリエイティブホールで4講座を開催し、子育て中の 保護者を支援した。 (参考:令和3年度は5講座)	参 加 者 の 満 足 度	満足度90% 以上	アンケートで 「大変満足」 「満足」と答 えた割合 94.4%	A	満足度90%以上	取組 の 継 続	講座を実施し、子育て中の保護 者を支援していく。	177	25	177	学習支援課				
60		講座・教室	子育て	015 子育て世代が つながるさっ かけづくり	2-1 誰もが心豊かに暮らせ る市民生活の推進	家庭教育 支援講座 「星とおひ さまFika (フィーカ キャラバ ン)ワーク ショップ	保護者の心理的負担を軽減 し、家庭の教育力の向上を 図る。	家庭教育支援講座を茶話会 (Fika(フィーカ))形式のワー クショップで行うことにより、 保護者の心理的負担を軽減し、 家庭の教育力の向上を図る。	親子・保 護者	12	204	市単独	通常 通り 実施	対 面 実 施	小学校10校、生涯学習センター2館の計12回 実施した。	実 業 の 再 構 築 ・ 充 実	6校	10校+2館	A	10校	取組 の 継 続	家庭教育支援チームとの協働に より、講座を開催する。	155	155	150	学習支援課				
61		イベント等	健康・スポーツ	016 地域で の活動のさっ かけづくり	3-3 学びを活かせる生涯学 習の推進	地区運動 会・スポー ツ大会	総合型地域スポーツクラブ や旧体力づくりへ補助金を 交付し、スポーツ大会を通じ、 地域コミュニティの活性化や スポーツ実施率の向上を図る。	総合型地域スポーツクラブや 旧体力づくりへ補助金を交付 し、スポーツ大会を通じ、地 域コミュニティの活性化や スポーツ実施率の向上を図る。	どなた でも	5	1,831	補助	変 更 し て 実 施	対 面 実 施	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催し なかつた地区が多かった。開催した地区につ いては、対策を行った上で実施した。	件 数 ・ 参 加 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利 用 者 数	8000人	1,831人	B	8,000人	取組 の 継 続	新型コロナウイルス感染症の影 響次第で地区ごとに開催判断が 異なるが、引き続き申請受付を 行う。	1,782	435	1,683	スポーツ振 興課				
62		講座・教室	社会貢献活動	016 地域で の活動のさっ かけづくり	1-1 市民自治の推進	はちおうじ 市民塾	これまで培ってきた自らの 経験や知識を地域に根ざし た主体的な活動に活かし、 地域活動の担い手の中心と なる人材を養成する。	これから定年退職する人や定 年を迎えた人を対象に、退職後 地域で活動するきっかけづく りをする。	八王子 市内で 市民活 動をし たいと 思っ ている 人	15	17	委託	通常 通り 実施	対 面 実 施	令和3年度13期は新型コロナ感染拡大の影 響もあり10月開講、全13講座としたが、令和4 年度14期は9月開講に戻し、講座数も15とし た。 実績値が目標値を下回ってはいないものの、コ ロナの影響で13期には出来なかつた八王子市の 資源ともいえる大学との連携講座も復活させ たほか、受講者のアンケートについても満足度 が高い結果となった。	用 件 数 ・ 参 加 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利 用 者 数	20~30人	17	A	20~30	取組 の 継 続	R5は15回目となるが、対象を 主にシニア層としてはいるが、 40歳代の受講者もあり、状況 の変化に対応するべく講座内容 の見直しが必要となっている。	2,614	2,614	2,500	協働推進課				
63		イベント等	社会貢献活動	016 地域で の活動のさっ かけづくり	1-1 市民自治の推進	市民活動 入門講座 (アクティ ブ市民塾)	市民活動団体の活動を紹介 する。	市民活動に対する理解を深め、 市民活動を促進する。	どなた でも	6	143	指定管理 者	通常 通り 実施	対 面 実 施	就労支援、プレーパーク、フードバンク、シニアの いきがいづくり等を担う団体とともに体験イ ベントを対面により開催し、団体の活動紹介を行 った。 実績値が目標値を下回ったものの、イベントに関 連して広報紙でも特集し多面的に支援を行っ た。	数 ・ 参 加 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利 用 者 数	150人	143	A	150	取組 の 継 続	令和5年度もさまざまな分野の 市民活動団体の活動を紹介す るために、活動の現場に向向く講座 等を行っていく。	指定管理 料の中 で実施	指定管理 料の中 で実施	指定管理 料の中 で実施	協働推進課 (市民活 動支援セ ンター)				
64		イベント等	社会貢献活動	016 地域で の活動のさっ かけづくり	1-1 市民自治の推進	地域デビ ューパー ティー802	シニア世代を対象に、市民活 動に関する講演や団体紹介な ど地域での活動に参加す るきっかけづくりをする。	シニア世代を対象に、市民活 動に関する講演や団体紹介な ど地域での活動に参加す るきっかけづくりをする。	どなた でも	1	353	実行委員 会	通常 通り 実施	ど ち ら も 実 施	地域デビューパーティーと名称を変更し、シニア の男性だけでなく多世代の市民を対象とし たところ、多くの来場者があった。	参 加 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利 用 者 数	120人	353	A	200	取組 の 継 続	来場した市民が興味のある団体 関係者と交流する場である交流 会をコロナ発生以降実施してい ないため、団体の紹介からもう一 歩踏み込んだ内容にできていな い。	200	200	200	協働推進課 (地域デ ビューパ ーティー 802実 行委員 会)				
65		講座・教室	社会貢献活動	016 地域で の活動のさっ かけづくり	3-3 学びを活かせる生涯学 習の推進	生涯学習 コーディネ ーター養 成講座	市民の学習活動を支援する 「生涯学習コーディネ ーター」を養成し、生涯学習推 進事業の中核を担う人材の 育成を目指す。	自ら講座を企画・運営し、市民 の生涯学習活動を支援する「生 涯学習コーディネーター」を 養成する。	成年	1	19	共催	通常 通り 実施	ど ち ら も 実 施	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響 を受け、開催時期を変更したが、令和4年度は通 常通り実施し、19名が参加した。また、要望に 応じてオンラインでも開催をした。	参 加 者 の 満 足 度	アンケートで 「満足」「や や満足」と 答えた割合 80%以上	A	アンケートで「満 足」「やや満足」 と答えた割合80% 以上	取組 の 継 続	共催団体とより効果的な開催方 法の検討を行いながら、参加者 の増加と満足度の向上を図り、よ り多くの市民が生涯学習を行 うきっかけづくりを提供する。	26	26	40	学習支援課					
66		講座・教室	社会貢献活動	017 地域で 活躍するボ ランティアの 養成・支援	2-2 誰もが生きがいを持ち 安心できる地域づくり	シニア元 氣塾 ボラ ンティア入 門講座	知識、経験、特技を持つ高 齢者の新たな人材発掘や、ボ ランティア活動のきっかけ をつくり、高齢者の社会参 加促進を図る。	ボランティア活動のきっかけ をつくり、高齢者の社会参 加促進を図る。	シニア	8	受講者数 14人	委託	通常 通り 実施	対 面 実 施	令和3年度同様通常通り実施した。	数 ・ 参 加 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利 用 者 数	修了者数 30人/年	修了者数14 人/年	B	修了者数 30人/年	取組 の 継 続	多くの方にボランティア活動の きっかけづくりの機会を提供で きるよう広く周知を図る。	2,976	2,976	3,000	高齢者いき いき課				
67		講座・教室	社会貢献活動	017 地域で 活躍するボ ランティアの 養成・支援	6-1 一人ひとりが考え、と もに守る環境	川の学習 サポーター 養成講座	市内小学校等で実施してい る環境教育支援(川の学習) の支援者を育成する。	川に関する基本的な知識を学 び、市内小学校等で環境教育 支援を行う人材を育成する。	どなた でも	7	6	委託	通常 通り 実施	対 面 実 施	川の学習の支援者育成に特化した内容とした。	数 ・ 参 加 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利 用 者 数	参加者数20 人	6人	B	参加者20人	取組 の 継 続	より多くの川の学習サポーター を育成する。	440	440	340	環境政策課 (委託先: 特定非営利 活動法人環 境活動セン ター八王子)				

番号	新規	種類	分野	生涯学習プラン 具体的な施策	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	事業内容	令和4年度 実績										令和4年度の目標および評価				令和5年度 目標設定				令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 決算 (千円)	令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	コロナ 影響の 実施 方法	令和4年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和4年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和5年度目標値	方向性	令和5年度の 課題と方向(120字程度) 廃止・休止の場合はその理由									
68		講座・教室	社会貢献活動	017 地域で活躍するボランティアの養成・支援	3-2 未来をひらく子どもを育てる教育	学校図書館ボランティア研修会	学校図書館の環境整備及び読書活動の推進に必要な技術及び知識を習得する。	学校図書館の環境整備及び読書活動の推進に必要な技術及び知識を習得する。	どなたでも	2	80	市単独	通常通り実施	対面実施	集合研修方式で2回実施 R4.6.14 44人 R4.11.17 36人 令和3年度はコロナの影響で1回のみ実施 技術講座(本の修理)に対する平均評価(役に立った) 3.79点/4点満点	等者参加者数・利用者数・利用件数等	107人 (全校×1名)	80	A	107人 (全校×1名)	取組の継続	全校からの参加を目標に、年間2回の研修会を計画すると共に、広く周知を進め、参加者の増を図る	0	0	0	0	教育指導課			
69		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	017 地域で活躍するボランティアの養成・支援	2-2 誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	日本語ボランティア養成講座	外国人市民の日本語学習支援の充実	外国人市民の日本語学習支援のための支援者を養成する講座を実施する。	外国人	3	55	委託	通常通り実施	対面実施	令和3年度はコロナの影響で1回中止したが、令和4年度は計画通りに3回実施した。	参加者数・利用者数・利用件数等	45人	55人	A	55人	取組の継続	受講者募集の効果的な周知及び講座の内容の充実について検討する。	469	469	470	0	多文化共生推進課			
70		講座・教室	社会貢献活動	017 地域で活躍するボランティアの養成・支援	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	図書館ボランティア等の連携・支援	ボランティア活動の成果発表の場の提供、及び利用者ボランティアスタッフの成長のきっかけづくり。	図書館事業に関わる関係団体やボランティアと連携し、図書館サービスを拡充するとともに、育成やスキルアップを支援する。	どなたでも	【実施回数】468回	【人数】460人	共催	変更して実施	対面実施	新型コロナウイルスの感染状況により、実施を控えた時期・実施自体を控えたものもあった。	その他	前年度を上回る回数(563回)、及び参加者数(697人)	【実施回数】468回 【人数】460人	B	前年度を上回る回数(468回)、及び参加者数(460人)	取組の継続	新型コロナウイルスの影響も落ち着いてきたなかで、社会情勢を鑑みながら、実施を行っていく。	1,287	83	134	0	図書館課			
71		講座・教室	社会貢献活動	017 地域で活躍するボランティアの養成・支援	2-2 誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	手話講習会	手話通訳ボランティア・手話通訳者の養成及び障害のある人に対する理解の促進を図る。	初級・中級手話講習会や手話通訳者養成入門講座等を開催し、手話通訳ボランティアの養成及び障害のある人に対する理解の促進を図る。	若者 成年 シニア	138	1,428	実行委員会	通常通り実施	対面実施	新型コロナウイルス感染拡大に伴い発出された「緊急事態宣言」等の影響により、数年前から講座受講生数に減少が見られる。減少により次のクラスに進級する受講生が少なくなっている現状が続いている。	数参加者数・利用者数・利用件数等	参加者目標20名(中級)各コース20名(養成入門)応募者目標10名(養成講座)	78% 参加者15名(中級)各コース18名(養成入門)応募者6名(養成講座)	B	参加者目標1430人	取組の継続	登録者数が減少傾向にある地域の「手話通訳者」の養成、手話通訳者全国统一試験合格者の増加。	1,557	1,571	1,557	0	障害者福祉課			
72		講座・教室	社会貢献活動	017 地域で活躍するボランティアの養成・支援	2-2 誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	要約筆記者養成講習会	要約筆記者の養成及び障害のある人に対する理解の促進を図る。	手話を使えない、中途失聴難聴者の通訳手段である要約筆記技術の習得、要約筆記者の養成の場として、2か年にわたって実施する。	若者 成年 シニア 通訳業務が可能な障害者の方	43	3	指定管理者	通常通り実施	対面実施	令和3年度はパソコンコースを実施。令和4年度は手書きコースで開催した。	数参加者数・利用者数・利用件数等	参加者目標5名	3名(目標値に対する参加者数60%)	B	—	廃止・休止	パソコンコースで受講生を募集したが、2名の応募がなく、情報保障の際に必要な連携実習が行えないため、事業を休止とした。	1,550	1,273	0	0	障害者福祉課			
73		講座・教室	社会貢献活動	017 地域で活躍するボランティアの養成・支援	2-2 誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	災害ボランティアリーダー養成講座	災害ボランティアセンターの運営に協力できる市民ボランティア(災害ボランティアリーダー)を養成する。	災害ボランティアセンターの運営に協力いただく災害ボランティアリーダー(市民ボランティア)を養成するために講座を実施する。	どなたでも	新規養成講座4、継続リーダー講座20人 フォローアップ講座1 運営訓練2	養成講座:15人 フォローアップ講座:20人 運営訓練:182人	補助	通常通り実施	対面実施	感染対策を行いながら、対面にて実施した。最終日の災害ボランティアセンター運営訓練では、ボランティアの他に地域住民、行政等の関係機関も参加した。	数参加者数・利用者数・利用件数等	災害ボランティア養成講座:15人 フォローアップ講座:20人 運営訓練:182人 参加人数:各30名	A	養成講座:15人 フォローアップ講座:20人 運営訓練:120人	取組の継続	感染対策を行いながら、対面にて実施を行う。運営訓練では、ボランティアの他に地域住民、行政などの関係機関にも参加し広く災害ボランティアセンター事業を周知していく。	182	339	293	0	社会福祉協議会市民力支援課				
74		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	018 地域の課題解決につながる学びの提供	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	はちおうじ出前講座	市民の生涯学習活動の支援を行うことと、市政に対する理解を深める。	市職員等が地域の団体等へ出向き、担当業務に関して専門知識を活かした講座を行うことと、市民の生涯学習活動を支援し、意識の向上を図るとともに、市政に対する理解を深める。	どなたでも	1,241件 (市役所編132件 官公署・企業等編1,109件)	83,942 (市役所編25,005 官公署・企業等編58,937)	共催	通常通り実施	どちらも実施	依頼者の希望に応じながら、様々な講座を提供することができた。	数参加者数・利用者数・利用件数等	利用者数150,000人以上	83,942人	B	利用者数150,000人以上	取組の継続	市民の多様な学習ニーズに応えられるよう、講座提供先の開拓に努める。また、オンラインでの講座の開催にも積極的に取り組んでいく。	—	—	—	—	学習支援課			
75		講座・教室	教養的なもの	018 地域の課題解決につながる学びの提供	6-1 一人ひとりが考え、ともに守る環境	エコひろばでの環境教育	環境について関心をもつきっかけを提供する。	環境について関心を持つきっかけづくりとして、環境教育・環境学習の講座を実施する。	どなたでも	36	1,439	委託	通常通り実施	対面実施	コロナが落ち着いたことで、ほぼ通常通りの講座実施に戻すことができた。	数参加者数・利用者数・利用件数等	5,000人	1,439人	C	—	廃止・休止	左記事業に紐づくような講座実施については、令和5年度よりエコひろばへの委託業務から削除する。 ※あったかホール館内でのイベントや講座等は指定管理者による実施に一元化するものとする。	7,217	7,217	0	0	環境政策課(委託先:特定非営利活動法人環境活動センター八王子)			
76		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	018 地域の課題解決につながる学びの提供	6-2 環境負荷の少ないまちづくり	クールセンター八王子での省エネ講座	地球温暖化対策に関する普及啓発	地球温暖化対策に興味を持ち、実践につなげられるように、講座を実施する。	どなたでも	52	3,100人	委託	通常通り実施	対面実施	開催回数を増やす、幅広いテーマを取り上げる、ワークショップを組み合わせるなど、参加者数を増やす取組を行った。	普及・啓発等	前年度と同年以上	3,100人	A	前年度と同年以上	取組の継続	2050年ゼロカーボンシティ実現および2030年度家庭分野二酸化炭素排出削減目標66%(2013年度比)の達成に向けて、幅広い市民に参加される講座を目指す。	23,978	23,978	24,006	0	環境政策課(委託先:特定非営利活動法人エヌビーオー・フュージョン長池)			

番号	新規	種類	分野	生涯学習プラン 具体的な施策	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	事業内容	令和4年度 実績					令和4年度の目標および評価				令和5年度 目標設定				令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 決算 (千円)	令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 担当課 (実施主体)	
									対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	コロナ 影響の 実施 方法	令和4年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 標 値	令和4年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和5年度目標値	方向性	令和5年度の 課題と方向(120字程度) 廃止・休止の場合はその理由					
85		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	019 学習成果の発表と学びの広がり	1-1 学習成果の発表と学びの広がり	フラワーフェスティバル由木	由木地域の活性化とコミュニティづくりを図る。	由木地域の活性化とコミュニティづくりを図る。	—	—	—	—	全面中止・延期	開催直前の7/27に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止の旨を公式ホームページ等で周知した。	参加者数・利用者数・利用件数等	イベントを実施する際は、基本的な感染防止対策を徹底したうえで実施する。	—	評価なし	新型コロナウイルスの感染拡大状況を勘案し、コロナ禍以前の通常開催に近づけるようにする。	改善・見直しの実施	新型コロナウイルスの影響により4年ぶりの開催となるが、国や都のコロナへの対応状況を踏まえ、対策を施したうえで開催を予定。	4,000	477	4,000	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団・フラワーフェスティバル祭典委員会)	
86		イベント等	教育的なもの	#N/A	#N/A	八王子城跡まつり	親子で楽しめるイベントを地元や市民団体等とともに協働して開催し、八王子市の歴史に興味を持ち、郷土愛の醸成を図る。	親子で楽しめるイベントを地元や市民団体等とともに協働して開催し、八王子市の歴史に興味を持ち、郷土愛の醸成を図る。	八王子城跡まつり（令和3年度で事業廃止）																	
87		イベント等	家庭生活	019 学習成果の発表と学びの広がり	2-1 誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	消費生活フェスティバル	食・環境・暮らし・安全安心・消費者被害対策などの消費生活に関する啓発	消費者団体相互の交流を図るとともに、消費者団体等と連携して、消費生活に関する情報を体験や遊びを通して消費者に提供する。	どなたでも	1	366	市単独	通常通り実施	対面実施	昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、WEB開催(2022/3/1~3/31の1か月間)としたが、令和4年度は感染症対策に配慮しつつ、会場開催とした。	拡大事業等の再構築・充実	アンケートの回答者の90%以上が高評価	アンケート回答数241件のうち234件(約97%)が満足と回答	A	アンケートの回答者の90%以上が高評価	取組の継続	【課題】消費者団体及び来場者数の増大【方向】消費者団体相互間の交流を図るとともに、広報・HP・SNS等の情報発信にも工夫を凝らし、消費生活センターの認知度を高める。	91	83	86	消費生活センター
88		イベント等	健康・スポーツ	019 学習成果の発表と学びの広がり	2-3 保健医療の充実	健康フェスタ・食育フェスタ	子どもから大人まで楽しみながら、健康や食育について学べる場と市民交流の場を提供する。	例年、5月第3日曜日を「市民健康の日」と定め、健康づくりや食育について、子どもから大人まで、楽しみながら、体験できる学びと市民交流の場を提供する。	どなたでも	1	7,698	実行委員会	変更して実施	対面実施	令和2年度、令和3年度は中止。令和4年度は規模を縮小し感染予防策を講じて開催。	利用者数等・利用者数	来場者アンケートで「健康づくりのきっかけとなった」と回答する人の割合 90%以上	来場者アンケートで「健康づくりのきっかけとなった」と回答する人の割合88.7%	A	来場者アンケートで「健康づくりのきっかけとなった」と回答する人の割合 90%以上	取組の継続	新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と同規模となるよう、協賛企業等とも連携して実施する。	1,700	1,210	1,850	保健総務課
89		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	019 学習成果の発表と学びの広がり	6-1 一人ひとりが考え、ともに守る環境	八王子環境フェスティバル	市民の環境に対する意識の高揚と自発的な活動の促進。	環境の保全についての関心と理解を深め、環境保全活動への参加意欲を高めることを目的とし、日々の学習成果を発表する機会を設け、市民の自発的な学習活動のきっかけづくりと、学びを通じた交流の場を提供する。	どなたでも	1	延べ約60,000人	実行委員会	通常通り実施	対面実施	6月5日に(JR八王子駅北口コーロード・南口とちの木デッキ)で実施した。	その他	1回開催	1回開催	A	1回開催	改善・見直しの実施	6月4日に東京たま未来メッセにて開催する。	700	700	700	環境政策課 (八王子環境フェスティバル実行委員会)
90		イベント等	青少年育成・体験活動	020 日頃の成果の発揮と学びの意欲の醸成	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	子ども将棋大会	日本の伝統文化である「将棋」に親しみ、大会を通じてコミュニケーションや礼儀作法の修得など、子どもたちの健全育成を図る。	日本の伝統文化である「将棋」に親しみ、大会を通じてコミュニケーションや礼儀作法の修得など、子どもたちの健全育成を図る。	子ども	1	79	委託	変更して実施	対面実施	定員制限等の感染対策を講じた上で開催し、延べ79名が参加した。(91名の応募があったが、直前の欠席が多かった)(参考:令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、未実施)	等参加者数・利用者数・件数	参加者80人以上	79人	A	参加者100人以上	取組の継続	定員を昨年度よりも拡大して実施する。	503	481	503	学習支援課
91		イベント等	健康・スポーツ	020 日頃の成果の発揮と学びの意欲の醸成	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	市民スポーツ大会	スポーツにおける市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供し、競技の普及、競技力の向上を図る。	スポーツにおける市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供し、競技の普及、競技力の向上を図る。	どなたでも	72	12,980	委託	変更して実施	対面実施	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から5競技を中止した。	等参加者数・利用者数・件数	17,000人	12,980人	B	17,000人	取組の継続	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、目標値に近づけるよう、引き続き開催に関する周知を行う。	3,371	2,522	3,371	スポーツ振興課
92		イベント等	健康・スポーツ	020 日頃の成果の発揮と学びの意欲の醸成	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	市民レクリエーション大会	市民が日頃のレクリエーション活動の成果を発揮する場と、それらを観る機会を提供し、市民の生涯学習活動を支援する。	市民が日頃のレクリエーション活動の成果を発揮する場と、それらを観る機会を提供し、市民の生涯学習活動を支援する。	どなたでも	1	564	委託	通常通り実施	対面実施	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、4年ぶりに実施した。	件数参加者数・数・利用者数	1,000人	564人	B	1,000人	取組の継続	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、目標値に近づけるよう、引き続き開催に関する周知を行う。	743	743	743	スポーツ振興課
93		イベント等	健康・スポーツ	020 日頃の成果の発揮と学びの意欲の醸成	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	市民スポーツレクリエーション大会	スポーツ・レクリエーション活動における市民の日頃の練習の成果を発揮する場を提供し、市民の生涯学習活動を支援する。	スポーツ・レクリエーション活動における市民の日頃の練習の成果を発揮する場を提供し、市民の生涯学習活動を支援する。	どなたでも	67	2,267	委託	通常通り実施	対面実施	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、3年ぶりに全大会種目を実施した。	等参加者数・利用者数・件数	3,000人	2,267人	B	3,000人	取組の継続	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、目標値に近づけるよう、引き続き開催に関する周知を行う。	503	503	503	スポーツ振興課

番号	新規	種類	分野	生涯学習プラン 具体的な施策	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	事業内容	令和4年度 実績										令和4年度の目標および評価				令和5年度 目標設定				令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 決算 (千円)	令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	コロナ 影響 の 実施 方法	令和4年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和4年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和5年度目標値	方向性	令和5年度の 課題と方向(120字程度) 廃止・休止の場合はその理由									
																						数・参 加者 数・利 用者 数	満足度	参加者の 満足度	普及・啓 発等	開催規模の 拡大(参加団 体の数)				
94		イベント等	健康・スポーツ	020 日頃の成果の発揮と学意の醸成	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	高齢者及び障害のある人を対象とし、健康の増進、生きがいの高揚、社会参加の促進、参加者間の交流などを支援する。	公道がコースとなる駅伝では日本最大級の大会として、八王子市の魅力を市内外へ発信し、スポーツの振興と地域の活性化を図る。	どなたでも	1	1,652	実行委員会	変更して実施	対面実施	コースの変更や閉会式等の縮小開催により、3年ぶりに実施した。	数・参加者数・利用者数	2,000人	1,652人	B	2,000人	取組の継続	参加者が安全に楽しく参加できるように、関係者・関係団体と検討を続けていく。	23,400	23,374	22,784	スポーツ振興課				
95		講座・教室	教養的なもの	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	大学生等が参画する生涯学習センター講座の実施	市民の学習機会の一層の充実を図る。	大学生等の知識や大学等の有する設備を活用した講座を地域の大学等と協働で実施し、市民の学習機会の一層の充実を図る。	若者	4	70	市単独	通常通り実施	対面実施	東京工科大学との共催で「夏休みプログラミング講座」を実施。学生に助手を依頼し、子どもたちにプログラミングを体験する機会を提供した。	参加者の満足度	満足度85%以上	アンケートで「大変満足」「満足」と答えた割合90.6%	A	満足度85%以上	取組の継続	引き続き大学生等が参画する講座を実施し、市民の学習機会の一層の充実を図っていく。	—	—	—	学習支援課				
96		イベント等	社会貢献活動	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	ビッグウエスト学生フェスティバル	学生同士及び学生と市民の方々との交流を図る。	八王子市学園都市推進会議主催で学生フェスティバル委員会により開催し、学生同士や市民の人たちとの交流を図る。	どなたでも	1	学生293 来場者826	補助	通常通り実施	対面実施	お茶会は、初めての試みで学園都市センターのセミナー室で開催した。お茶の器は紙製、お菓子は個包装のものを使用し感染対策を講じながら開催できた。	普及・啓発等	開催規模の拡大(参加団体の数)	参加団体数は11から21団体に増加	A	新規参加団体1団体以上	取組の継続	コロナ禍の影響で常連参加団体のみの参加となっている。学園都市八王子の更なる発展のためには、新規参加団体の確保が課題となる。	2,094	1,909	2,114	学園都市文化課(ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)				
97		イベント等	社会貢献活動	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	★学生天国★	学生同士及び日頃学生と関りが少ない市民の方々との交流を図る。	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生で構成する学生委員会により開催し、学生同士や市民の人たちとの交流を図る。	どなたでも	1	来場者6,500 参加団体22団体(ステージ12 出店10)	共催	通常通り実施	対面実施	感染対策を講じながら、コロナ禍以前のイベント規模で実施した。一部開会セレモニー等は出席者を制限した。	普及・啓発等	開催規模の拡大(参加団体の数)	参加団体数は11から22団体に増加	A	参加団体の数(22団体以上)	取組の継続	コロナ禍の影響で過去に参加した多くの団体が外部発表等ができない状況にあった。多くの団体が活動が再開されてきたことから、参加団体の増加が期待できる。	2,588	2,568	2,588	学園都市文化課(ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)				
98		その他	社会問題・市民生活に関するもの	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	学生企画事業への支援	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が、八王子地域を舞台にイベント等を企画・運営・実施する際に、支援する。	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が、八王子地域を舞台にイベント等を企画・運営・実施する際に、支援する。	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学等に在籍する5名以上の学生	1	5大学等8団体	補助	通常通り実施	対面実施	感染対策を講じながら、コロナ禍以前と同様の報告会を実施した。久しぶりのポスターセッションでは学生同士、地域と連携を図った団体と交流の時間を増やして充実したセミナー等は出席者を制限し開催した。	大事業の再構築・充実・拡大	学生と地域社会の協働事業数70%以上	100%全事業で地域の企業や組織と協働し実施	A	前年度採択団体以外からの応募2件以上	取組の継続	コロナ禍の影響で、多くのゼミ等による学外活動が実施できず、この2、3年応募団体に変化が見られなかった。大学等への広報活動を積極的に行うことで、新規応募の増加を目指す。	1,741	1,149	1,794	学園都市文化課(ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)				
99		イベント等	教養的なもの	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	学生発表会	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が日頃の研究成果を市民・企業・市政などに向けて発表する。	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が日頃の研究成果を市民・企業・市政などに向けて発表する。	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学等の学生	1	発表件数280件	補助	通常通り実施	対面実施	来場者の入場制限を廃止したが、コロナ禍で実施した学生による質問は、学生の学び学生間の交流に効果がことから、継続実施した。	大事業の再構築・充実・拡大	この数年参加していない大学等の参加を促し、参加大学等数を全加盟大学等の50%以上とする。	68%17/25校	A	発表件数の増(R4年度:280件) 円滑に運営できる体制の構築	取組の継続	昨年度の発表会では、発表件数の増加に伴い、会場キャパシティが限界に達した。新規会場の確保など、更なる発表件数の増加に対応した運営体制を構築することが必要である。	1,777	1,539	1,995	学園都市文化課(ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)				
100		イベント等	教養的なもの	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	八王子学生CMコンテスト	学園都市八王子の特色を活かし、学生ならではの視点で八王子市の魅力を動画CMにした作品を募集し、コンテストを開催する。	学園都市八王子の特色を活かし、学生ならではの視点で八王子市の魅力を動画CMにした作品を募集し、コンテストを開催する。	学生(大学院・短大・高専・専門学校)	1	43作品(加盟校9校 非加盟校4校)	補助	通常通り実施	対面実施	上映会・表彰式は、多く参加者や関係者の来場が想定されたため、一般市民向けに同施設内限定でZoom中継した。受賞作品は、テレビや街頭ビジョンに加え、JR八王子駅「つながるルーム」等で放映機会を設け、八王子市の魅力と学生の取組成果を広く発信した。	利参加者数等・利用者数	上映会・表彰式の視聴者数200名以上	80名(コロナ禍の影響を考慮し、参加人数を抑制したこと、オンライン配信を廃止したため、到達しなかった。)	B	応募する加盟校数10校以上	取組の継続	受賞作品の上映機会の増加に加え、その作品の作者が所属する大学等の周知を組み合わせることにより、加盟校内における本コンテストの価値を高めることを目指す。	2,189	2,204	2,259	学園都市文化課(ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)				
101		イベント等	青少年育成・体験活動	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	二十歳を祝う会	大人としての責任の自覚を促すとともに、新しく成人となった若者を祝い、励ます。	成人式の開催に当たって、大学生等を中心とした実行委員会を立ち上げて企画運営に参画するとともに、高校生がボランティアとして運営に参画することにより、式典を協力してつくりあげる社会経験の場とする。	成年	3	3,557	共催	変更して実施	どちらの実施	令和4年度より従来の「成人式」から「二十歳を祝う会」に変更して初めて実施。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、回数を3回に分け、時間を40分に短縮し開催した。会場開催にあわせ、市公式YouTubeチャンネルにも式典動画を掲載し、来場者の参加の選択肢を増やした。	参加者の満足度	感染症対策を行い、多世代・地域と協働して成人式を開催し、新成人に社会人としての自覚を促す。	A	多世代・地域と協働して二十歳を祝う会を開催し、対象者に社会人としての自覚を促す。	取組の継続	成年年齢の引き下げにより、「成人式」に代わり新たに実施となった「二十歳を祝う会」の定着を図る。新しい生活様式を踏まえながら式典を開催する。	3,245	2,568	3,068	学習支援課(二十歳を祝う会実行委員会)					
102		イベント等	趣味的なもの	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	八王子市内高等学校吹奏楽フェスティバル	音楽教育の振興と市民文化の向上を図るとともに、市内高等学校の演奏力の向上をめざす。	市内高等学校吹奏楽フェスティバルを高校生による運営とすることで、青少年の音楽活動の成果発表の場を確保するとともに、イベント開催に参画する機会を提供する。	高校生	1	市内高校参加:10校	共催	通常通り実施	対面実施	令和4年度は関係者のみの来場制限を設けず一般入場を可としたため、来場者数が増加した。また、株式会社ジェイコムとの協働により特別番組の放映を行い、より多くの市民の関心を集めることができた。	数・参加者数・利用者数	500名	3,000名	A	3,200名	取組の継続	共催団体・協力団体と連携をとりながら、コロナ禍のより良い実施方法の検討を行い、青少年の音楽活動の成果発表の場を提供していく。	458	438	459	学習支援課				

番号	新規	種類	分野	生涯学習プラン 具体的な施策	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	事業内容	令和4年度 実績										令和4年度の目標および評価				令和5年度 目標設定				令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 決算 (千円)	令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	コロナ 影響の 実施 方法	令和4年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 標 価	令和4年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和5年度目標値	方向性	令和5年度の 課題と方向(120字程度) 廃止・休止の場合はその理由									
																						実施 形態	コ ロ ナ 影 響 の 実 施 方 法	指 評 標 価	令和4年度目 標値	目標値に 対する 実績値				
103		イベント等	青少年育成・体験活動	021 高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	3-1 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	児童館・子どもシティ	イベントの企画準備運営の軸を中学生が行うことで、中学生に地域のイベントプロデューサー的な体験を与える。単に中学生の満足のためだけでなく、地域住民との交流・協力を図っていく。また、小学生には就業体験を与える。	子どもたちが、社会性や協調性を育む機会に、学生と地域が参加し、交流活動を行う。	子ども	6	1,832	市単独	変更して実施	対面実施	昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大期と重なり、1回も開催できなかったが、令和4年度は、密にならないよう配慮しながらも、開催することができた。	実 事 ・ 業 拡 大 再 等 構 築 ・ 充	1回開催	6回開催	A	6回開催	取組の継続	令和5年度は、児童館が子ども・子育てに関する課題に対し、新たな体制を組み、新たな取組を開始する年度となるため、本件については現在継続予定ではあるが、規模や実施方法について見直す可能性がある。	951	716	771	青少年若者課(児童館)				
104		講座・教室	教養的なもの	022 若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	3-1 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	支援を必要とする若者の学び直しの場の提供	ひきこもりや働くことへの不安などを抱える若者に対する、学びの継続や学び直しの機会を提供し、社会的自立の支援を行う。	ひきこもりや働くことへの不安などを抱える若者に対する、学びの継続や学び直しの機会を提供し、主に対人関係に慣れるためのプログラム活動を提供する。	若者	125	647	委託	通常通り実施	対面実施	コミュニケーション講座、フィットネス及び遊びを通じた対人訓練メニュー等遊びを通じた対人訓練メニューでは、大会を開催したものもある。	数 ブ ロ グ ラ ム 活 動 回	プログラム活動90回実施	125回	A	プログラム活動120回開催	取組の継続	運営業者の強みを生かし、対人面での改善が期待できる多様なプログラムを継続して実施していく。利用者のニーズを反映したプログラムを実施していく。	28,450	28,450	28,759	青少年若者課				
105		その他	社会貢献活動	022 若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	3-1 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	若者が参加できるボランティア活動の充実	ひきこもりや働くことへの不安などを抱える若者に対する地域での活動機会を提供し、社会的自立の支援を行う。	地域貢献につながる活動メニューを企画・立案し、若者が参加できるボランティア活動を提供する。また、地域のボランティア活動の情報を広く提供する。	若者	23	127	委託	通常通り実施	対面実施	昨年度実施した兼王院清掃ボランティアに加え、東町・浅川清掃ボランティア、地域アートボランティア及び農園整備ボランティアを実施した。	普 及 ・ 啓 発	地域での活動5回	23回	A	地域での活動15回	取組の継続	地域の受け入れ先の開拓及び調整など、地域と連携をし、継続して実施していく。	28,450	0	0	青少年若者課				
106		イベント等	趣味的なもの	022 若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	クリエイティブステージ	日ごろの音楽活動の成果発表の場を提供するとともに、出演者・来場者間の交流を図る。	日ごろの音楽活動の成果発表の場として、40歳以下の団体・個人を対象にステージを提供するとともに、出演者・来場者間の交流を図る。	若者	1	8組107名	市単独	通常通り実施	対面実施	感染対策のため、演目の間に換気時間を設け開催した。8団体107名が出演し、323名が来館した。(10団体の応募があったが、2団体がキャンセルとなった。)(令和3年度は10団体115名が出演し、222名が来館した。)	数 参 ・ 加 者 用 数 ・ 数 利 用 者	10~15団体の参加	8団体	A	10~15団体の参加	取組の継続	より多くの団体・個人に音楽活動の成果発表の場を提供していく。	0	0	0	学習支援課				
107		講座・教室	教養的なもの	022 若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	2-1 誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	若者の視野が広がる教育・普及啓発	若者に学びの機会を提供する。	若者にとって生きるヒントが得られるような学びの機会を充実する。	若者	10	241	市単独	通常通り実施	対面実施	「ストレスと上手につき合おう～心と体のセルフケア」他9講座を実施し、生きるヒントが得られるような学びの機会を提供した。241名参加。	実 事 ・ 業 拡 大 再 等 構 築 ・ 充	10講座	10講座	A	10講座	取組の継続	より多くの若者が参加し、生きるヒントが得られるような内容の講座を実施していく。	—	—	—	学習支援課				

番号	新規	種類	分野	生涯学習プラン 具体的な施策	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	事業内容	令和4年度 実績										令和4年度の目標および評価				令和5年度 目標設定					
									対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	の コ 影 口 響 ナ	実施方法	令和4年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 標 価	令和4年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和5年度目標値	方向性	令和5年度の 課題と方向(120字程度) 廃止・休止の場合はその理由	令和 4年度 予算 (千円)	令和 4年度 決算 (千円)	令和 5年度 予算 (千円)	令和5年度 担当課 (実施主体)		
108		講座・教室	趣味的なもの	023	学びへの新たな参加を促す取組	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	生涯学習しえんねっと講座	生涯学習活動のきっかけづくり	学習支援委員が合同講座「しえんねっと講座」を開催することにより、市民に生涯学習活動のきっかけづくりの場を提供し、新たな参加を促す。	どなたでも	—	—	共催	期 全 中 止 ・ 延	—	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、「しえんねっと講座」については令和4年度も未実施となった。	度 参 加 者 の 満 足	合同講座の参加者満足度80%以上	—	評 価 な し	合同講座の参加者満足度80%以上	取組の継続	令和5年6月に3年ぶりに「しえんねっと講座」を開催する。開催にあたっては一部オンライン受講を可とするなど、より参加しやすい講座となるよう工夫する。	—	—	—	学習支援課
109		情報提供・環境整備	教養的なもの	024	生涯学習の相談体制の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	生涯学習相談	生涯学習活動のきっかけづくり及び支援	生涯学習情報を提供するほか、サークル結成・運営などの学習要望に対して助言する。	どなたでも	随時	—	市単独	通 常 通 り 実 施	—	窓口及び電話にて生涯学習情報を提供した。	そ の 他	相談体制の構築	開館日の窓口において随時実施	A	相談体制の構築	取組の継続	開館日において引き続き生涯学習相談を実施していく。	0	0	0	学習支援課
110		情報提供・環境整備	教養的なもの	024	生涯学習の相談体制の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	学習支援委員による相談	生涯学習活動のきっかけづくり及び支援	青少年活動の応援、国際交流や伝統文化の普及、家庭教育、サークル・団体活動のサポート等、学習支援委員がそれぞれの得意分野を活かして、生涯学習活動に関する相談を受け、助言や情報提供を行う。	どなたでも	随時	—	市単独	変 更 し て 実 施	ど ち ら も 実 施	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、支援委員の対面での活動は減少しているが、オンラインツールを用いた会議・講座の開催等新たな方法で学習支援を行った。	拡 大 等 の 再 構 築 ・ 充 実 ・	学習相談の機会を増やす	対面に加えてオンラインツールも活用し、様々な形で市民の学習活動を支援した。	A	学習相談の機会を増やす	取組の継続	学習支援委員と連携をとりながら、市民に生涯学習の情報提供の仕組み作りを引き続き行う。	—	—	—	学習支援課
111		情報提供・環境整備	教養的なもの	025	生涯学習機会の情報の発信	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	SNSによる生涯学習講座・イベント情報の発信	生涯学習活動のきっかけづくり及び支援	講座・イベント・フリースペースの情報について、FacebookとTwitterを通して発信する。	どなたでも	随時	—	市単独	通 常 通 り 実 施	—	講座やフリースペースの開催状況について随時情報発信した。 (Twitterフォロワー数 1,106人)	そ の 他	発信体制の構築	講座やフリースペースの開催状況を中心に、情報発信を行った。	A	発信体制の構築	取組の継続	講座やフリースペースの開催状況について随時情報を発信する。	0	0	0	学習支援課
112		情報提供・環境整備	青少年育成・体験活動	025	生涯学習機会の情報の発信	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	イベントカレンダーによる情報発信	小中学生向けのイベント等の情報提供を分かりやすく行うことで、学習活動の場を広げる。	夏休み期間中に実施する小学生向けの事業を集約した小冊子「夏休みイベントカレンダー」など、学習情報を一元化して市民に分かりやすく情報提供する。	子ども	1	発行部数:500部、データ提供	市単独	通 常 通 り 実 施	—	市内児童に分かりやすく情報の提供ができた。	普 及 ・ 啓 発 等	分かりやすい情報の提供	紙面にイラスト等を使用し、分かりやすく情報を提供できた。	A	分かりやすい情報の提供	取組の継続	市内児童に分かりやすく情報の提供をし、体験機会の充実を図る。	—	—	—	学習支援課
113		情報提供・環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	025	生涯学習機会の情報の発信	1-2	市民が納得できるサービスの提供	広報「はちおうじの教育」の発行	教育委員会の推進施策等の情報を発信し、市民の関心を高め、地域・家庭の教育力の向上と一層の市民協働を推進する。	市の教育行政情報や学校、教育施設の情報を提供し、市民に教育施策を周知する。	どなたでも	—	—	市単独	—	—	広報「はちおうじの教育」の発行に替わり「広報はちおうじ」の特集記事として教育関連情報を年2回発信した。	等 事 業 の 再 構 築 ・ 充 実 ・ 拡 大	—	—	評 価 な し	廃止・休止	広報「はちおうじの教育」の発行に替わり「広報はちおうじ」の特集記事として教育関連情報を年2回程度発信する。	0	0	0	教育総務課	
114		情報提供・環境整備	社会貢献活動	025	生涯学習機会の情報の発信	1-1	市民自治の推進	はちコミねっと	市民活動の情報発信及び、活動内容の周知のために実施する。	市民活動に関する情報発信を行う。	どなたでも	通年	288団体	委託	通 常 通 り 実 施	オン ラ イ ン 実 施	数年の準備期間を経て、11月にサイトをリニューアルし、セキュリティを高めると共に、登録団体が情報を発信しやすい環境を整備した。数カ月間に行っていたすべての団体に登録更新の呼びかけを行ったが、活動停止をしている団体もあり登録団体数が大きく減ることを想定していたが、丁寧な確認作業を行い移行後も288団体の登録を維持できた。	数 参 加 者 数 ・ 数 利 用 者	登録団体数250団体	288	A	250	取組の継続	令和5年度より要件の厳格化の実施にあたり、宣誓書の提出を各団体に義務付けるが、この回収率等により登録数が減となることも考えられるが、サイトのPRを積極的に行い新規登録団体の増加を図る。	1,496	1,496	1,463	協働推進課 (市民活動支援センター)
115		情報提供・環境整備	教養的なもの	025	生涯学習機会の情報の発信	1-1	市民自治の推進	市民センターだよりの発行	地域住民協議会が発行する情報誌を活用し、身近な地域情報を発信する。	地域住民協議会が発行する情報誌を活用し、身近な地域情報を発信する。	どなたでも	29	222,160	補助	変 更 し て 実 施	—	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による事業中止のため、センターだよりを発行できなかった住民協議会が複数あったが、4年度は概ね計画通り発行することが出来た。	実 事 ・ 業 拡 大 再 等 構 築 ・ 充	紙面の充実	各住民協議会が内容を工夫し、カラーを多用した見やすい紙面を作成した	A	紙面の充実	取組の継続	引き続き住民協議会による情報収集など紙面の充実に努め、身近な地域情報の発信を行う。	1,405	1,105	1,418	協働推進課
116		情報提供・環境整備	家庭生活	025	生涯学習機会の情報の発信	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	消費生活情報の提供	消費者被害を未然に防止するため消費者被害に関する注意喚起と消費生活に関する情報提供を行う。	消費生活ニュース、くらしのレポート、広報消費生活特集号等を発行し、消費生活に関わる情報提供を行う。	どなたでも	①消費生活ニュース…12 ②くらしのレポート…4 ③広報特集号…1	①6,580部 ②2,000部 ③287,385部	市単独	通 常 通 り 実 施	—	消費生活ニュース(毎月発行)、くらしのレポート(5・7・12・3月発行)、広報特集号(9月1日号)を作成して配布した。	普 及 ・ 啓 発 等	タイムリーな情報を関係団体と共同で情報提供する。	目標値どおりに発行した。また、消費生活ニュースはホームページ掲載やSNSにより発信してその効果を高めた。	A	タイムリーな情報を関係団体と共同で提供する	取組の継続	【課題】多くの市民に消費生活についての情報を伝え、消費者被害防止につなげるかや消費者市民を育むための情報の提供をいかに行うか。 【方向】市内全戸へ戸別配布され、様々な世代の方へ情報を提供できる広報発行の効果は高いため、引き続き発行していく。また、毎月・季号で発行するニュース等は、タイムリーなテーマを選び注意喚起等を行う。	887	835	1,004	消費生活センター

番号	新規	種類	分野	生涯学習プラン 具体的な施策	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	事業内容	令和4年度 実績										令和4年度の目標および評価				令和5年度 目標設定					
									対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	の コ ン タ クト 手 法	実施方法	令和4年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 標 値	令和4年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和5年度目標値	方向性	令和5年度の 課題と方向(120字程度) 廃止・休止の場合はその理由	令和 4年度 予算 (千円)	令和 4年度 決算 (千円)	令和 5年度 予算 (千円)	令和5年度 担当課 (実施主体)		
117		情報提供・環境整備	社会問題に関するもの	025	生涯学習機会の情報の発信	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	外国人向け情報誌「Ginkgo」の発行	外国人のニーズに合わせた行政情報の提供の充実	外国人のニーズに合わせた行政情報の提供の充実を目指し、年6回、多言語で、外国人向け情報誌を発行する。	外国人	6	延12,672部	市単独	通常通り実施	—	昨年度と同じ内容ばかりではなく、情報誌発行時点でのタイムリーな情報の発信に努めた。	充実・拡再構築等	掲載内容の充実を図るため、記事の収集に努める。	内容の充実に努めた。	A	掲載内容の充実を図るため、記事の収集に努める。	取組の継続	必要に応じて、発行言語の見直し等を検討する。	491	160	491	多文化共生推進課
118		情報提供・環境整備	社会問題に関するもの	025	生涯学習機会の情報の発信	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	男女共同参画情報紙「ばれっと」の発行	男女共同参画に関する意識啓発	男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供する。	どなたでも	1	286,225部発行	市単独	通常通り実施	—	「(仮称)八王子市男女共同参画社会の実現を目指す条例」の条例制定の周知とパブリックコメントの実施について、掲載した。	普及・啓発等	幅広い世代に関心を持ってもらえる紙面づくりを行う。	条例制定の周知を行い、男女共同参画に関する関心・理解を深めた。	A	幅広い世代に関心を持ってもらえる紙面づくりを行う。	取組の継続	「ばれっと」により、男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供する。	1,019	815	1,224	男女共同参画課
119		情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	生涯学習センター	生涯学習活動の支援	地域住民にとって身近な学習拠点であるほか、交流の場、コミュニティ形成の場として、学習ニーズや地域の実情に応じた学習機会を提供する。	どなたでも	—	170,705	市単独	通常通り実施	対面実施	部屋の適切な換気や手洗いの励行等感染対策を講じた上で、講座やフリースペース等の事業を実施した。	参加者数・利用者数	利用者数 135,000人以上	170,705人	A	利用者数 180,000人以上	取組の継続	様々な形で市民に学習機会を提供していく。	—	—	—	学習支援課
120		情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	学習室の貸し出し	生涯学習活動の支援	団体・個人に学習室等を貸し出し、市民の自発的な生涯学習活動を支援する。	どなたでも	18,583	—	市単独	通常通り実施	対面実施	部屋の適切な換気や手洗いの励行等感染対策を講じた上で、学習室等の貸出を行った。	参加者数・利用者数	利用件数 22,000件以上	18,583件	B	利用件数 19,000件以上	取組の継続	学習室等を貸し出し、市民の生涯学習活動を支援していく。	—	—	—	学習支援課
121		情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	フリースペース	生涯学習活動の支援、施設の有効活用	空き学習室を自習スペースとして開放し、学生の自主的な学習を支援するとともに、若い世代の施設利用を促進する。	若者	3館合計 992日	25,498	市単独	通常通り実施	対面実施	3館合計で992日実施し、延べ25,498名の利用があった。(参考:R3は21,309名)	参加者数・利用者数	利用者数 9,366人	13,982人	A	土・日・祝、平日夜間、学校長期休業期間に実施	取組の継続	引き続きフリースペースを実施し、学生の自主的な学習を支援していく。	0	0	0	学習支援課
122		情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	自習スペースの開放	自主的な学習を支援するとともに、図書館利用を促進する。	中央図書館視聴覚ホールを未使用時に自習スペースとして開放する。	どなたでも	323日	13,982	市単独	通常通り実施	—	新型コロナウイルス感染症対策の緩和として、席数を通常時に戻した。	参加者数・利用者数	利用者数 9,366人	13,982人	A	前年度(13,982人)を上回る利用者数	取組の継続	数値には現れないが、学生から社会人まで幅広い世代に利用されている状況であることから、空きスペースの有効利用として、引き続き実施していく。	—	—	—	図書館課
123		その他	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	地区図書館の図書館化	身近な読書環境を整備し、市民が読書に親しむ基盤を強固にする。	身近な読書環境の整備のため、地区図書館を図書館として整備する。	どなたでも	—	—	市単独	—	—	市全体における図書館の施設適正化方針の中で整理していく。	その他	—	—	評価なし	各地区図書館の聞き取り	取組の継続	各地区図書館の運営状況の聞き取りを行い、コロナ禍を経ての地域や利用の現状を踏まえたうえで、市全体における図書館の施設適正化方針の中で整理していく。	—	—	—	図書館課
124		情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	1-1	市民自治の推進	八王子駅南口集いの拠点整備	学び・交流・防災の3つの機能を備えたサードプレイスとなる複合機能施設の整備	八王子医療刑務所跡地に整備する公園、歴史・郷土ミュージアム(新郷土資料館)とともに、学習・交流機能を持つ交流スペースや図書館機能を持つ憩いライブラリを整備する。	—	—	—	市単独	—	—	PFI事業者公募、契約締結	その他	PFI事業者公募準備中	PFI事業者契約締結	A	—	取組の継続	開館に向けてPFI事業者と協議	—	—	—	集いの拠点整備課
125		その他	社会問題・市民生活に関するもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	若者の活動拠点づくり	若者が地域で生き生きと活躍できる場を提供し、社会的な自立に向けた支援を行う。	既存施設にあり方の見直しにより高校生や大学生などをはじめとする若者の活動の場としての機能を持たせるなど、生き生きと活躍できる若者の拠点づくりを進める。	若者	通年 (247日)	のべ1,573人	委託	通常通り実施	対面実施	若者総合相談センターにおいて、利用者が次の一歩を踏み出す準備段階としてのフリースペースを提供した。新型コロナウイルス感染症の影響で昨年よりも利用者数が減少した。	その他	既存施設のあり方の見直しを図り、若者の活動の場の提供を検討する。	若者総合相談センターでサードプレイスを継続的に実施した。	B	若者総合相談センターが企画する地域でのプログラム活動を充実させる。	取組の継続	若者総合相談センターが企画する地域でのプログラム活動を充実させる。	28,450	0	0	青少年若者課

番号	新規	種類	分野	生涯学習プラン 具体的な施策	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	事業内容	令和4年度 実績					令和4年度の目標および評価				令和5年度 目標設定			令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 決算 (千円)	令和5年度 予算 (千円)	令和5年度 担当課 (実施主体)		
									対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	の コ ロ ン ナ の 影 響 ナ シ	実施方法	令和4年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 標 価	令和4年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和5年度目標値					方向性	令和5年度の 課題と方向(120字程度) 廃止・休止の場合はその理由
126		その他	社会問題・市民生活に関するもの	027 誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり	2-1 誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	施設内のサイン計画改善	障害があることの社会的障壁の排除	言語や障害に左右されず、施設内を不自由なく使用できるように表示を改善する。	どなたでも	—	—	市単独	通常通り実施	—	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の周知啓発をチラシ等で行った。	その他	庁内関連施設だけでなく、八王子にある民間企業へも周知啓発を進める	庁内関連施設328か所へ1部ずつ配布	B	庁内関連施設だけでなく、八王子にある民間企業へも周知啓発を進める	取組の継続	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の周知啓発をチラシ等で続けていく。	—	—	—	障害者福祉課
127		情報提供・環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	027 誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり	2-1 誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	学習支援のための託児	子育て中の市民等の学習支援を行うことで、特に女性の社会参画の促進を図る。	子育て中の市民等の学習支援として、満1歳～未就学児の託児サービスを提供し、特に女性の社会参画の促進を図る。	どなたでも	125回	利用保護者147人	市単独	通常通り実施	対面実施	新型コロナウイルス感染症の感染予防に留意しつつ、対面形式で開催した。	件数 参加者数 利用者数 ・ 利用者数 ・ 利用者数	利用保護者230人	利用保護者147名	B	利用保護者147名	取組の継続	市民等のニーズを踏まえ、より学習機会が確保できるようなサービスを提供するため手法を検討し反映していく。	7,043	3,435	3,527	男女共同参画課
128		その他	社会問題・市民生活に関するもの	027 誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり	2-1 誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	障害者の参加を促す環境整備	障害のある方の社会的弱者としての配慮	障害者が講座等への参加に必要な介助者や手話通訳者の受講料を無料とするほか、車いす使用者用の机や拡大資料を提供し、障害者が参加しやすい環境を整備する。	どなたでも	—	—	市単独	通常通り実施	—	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の周知啓発をチラシ等で行った。	その他	庁内関連施設だけでなく、八王子にある民間企業へも周知啓発を進める	庁内関連施設328か所へ1部ずつ配布	B	庁内関連施設だけでなく、八王子にある民間企業へも周知啓発を進める	取組の継続	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の周知啓発をチラシ等で続けていく。	—	—	—	障害者福祉課
129		その他	情報端末・インターネットに関するもの	028 ICTを活用した生涯学習機会の充実	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	ICTの活用	電子書籍の拡充やホームページの充実等、非来館型サービスの充実により「いつでも、どこでも、だれでも」読書に親しめる環境づくりや、本市のDX施策の推進を目指す。	図書館における、電子書籍の拡充、ホームページ等による情報発信の充実を図る。	どなたでも	—	【電子書籍貸出数(令和5年3月時点)】35,518回【タイトル数(令和5年3月時点)】16,261点	市単独	通常通り実施	オンライン実施	電子書籍やナクソスミュージックライブラリ等既存のサービスに加え、電子申請を用いたオンラインリクエストサービスを9月から実施し、非来館型サービスの充実・DX施策の推進に努めた。	等 参加者数 ・ 利用者数 ・ 利用者数 ・ 利用者数	前年度を上回る利用状況(貸出数48,956回、タイトル数16,053点)	【電子書籍貸出数】35,518回【タイトル数】16,261点	B	【電子書籍貸出数】35,518回【タイトル数】16,261点	取組の継続	市内小中学・義務教育学校の児童・生徒に向け、新たにGIGAスクール端末での電子書籍貸出サービスを開始する。	6,628	5,038	6,934	図書館課